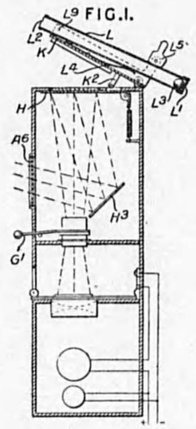
上ニ揚ル。ソシテ爪 p ハ振リ子ヲ放ス。ソコデ機械的ノ逃シ止ガ軸 b ノ制御ヲ司ルヤウニナル。爪 p ハ「レバー」k ノ「ピン」p^1 ニ依リ、右廻リ廻轉ヲシナイヤウニ止メラレテ居ル。コヽデハ主要發條ヲ捲上テ置ク爲ニ、Ferraris 電動機ガ用ヒラレテ居テ、ソノ「コイル」s ニハ、電流ヲ「コイル」t, u ニ供給スル爲「タップ」ヲ取付テ置クト良イ。

英 359,271 (XVIII)
(Dec. 2, 1930)

計時裝置
Timing devices.

發明者
Rose, W. H. T. R
England.

コレハ時間ヲ計ル一裝置デアツテ、特ニ寫眞燒付ニ應用スルト良イ。1ツノ時間ヲ計ル素材(例ヘバ1個ノ球 L^3 ノ如キ)ガ、傾斜シタ案内(例ヘバ L^1 ノ如キ管)ノ中ヲ下ノ方ヘ移動スル。コノ案内ハ、水平軸ニ樞着サレテ居テ、作働位置ニアル時ノ有效傾斜ヲ變ヘル手段ヲ備ヘテ居ル。案内ノ端ノ止メ L^2 ハ、時間ヲ計ル素材ガ案内ノ端ニ來タ時、音トカ或ハ觸覺デ、ソレヲ示スヨウナ工合ニナツテ居ル。圖ニ示ス樣ナ構造デハ、管 L ガ L^3 ノ所デ枠 K ニ「ピボット」サレテ居テ、コノ枠ハ、燒付器ノ蝶番デトメタ壓下印畫板ヲ形成シテ居ルノデアル。H ハ發條デ制御サレテ居ル「シヤツター」デ、印畫板ガ下ニオロサレル時、腕 K^2 デ開カレル。管ハ、調節出來ル「カム」止メ L^5 ニ對シ、發條 L^4 ニ依ツテ支持サレテ居ル。コノ「カム」止ガ、壓下印畫板ガ燒付ノ爲ニ下ニオロサレル時、有效傾斜ヲ決定スルノデアル。球ハ印畫板ガ上ニ揚ゲラレル時、自働的ニ始メニ居ツタ端 L^1 ニコロガツテ行クノデアル。



英 361,075 (XVIII)
(Oct. 21, 1930)

短時間測定
Measuring short time intervals.

發明者
Submarine Signal Co.
U. S. A.

コレハ短時間測定裝置デアツテ、光線反射裝置ガ測定時間ノ始ニ於テ運動狀態ニ置カレ、ソシテ光線發生指示裝置ガ測定時間ノ終リニ於テ發光サセラレルノデアル。ソシテ測定時間ノ終リニ發光サセラレタ光線ハ光線反射裝置ニ依ツテ反射サレ、別ニ目盛板ガアツテ之ニ依ツテ反射サレタ光線ノ瞬間ノ位置ガワカリ、ソレヨリ經過時間ガワカル線ニナツテキル。コヽニ述ベルモノハ、上記裝置ヲ反響音ニ依ル測定裝置ニ應用シタモノデアル。サテ刺戟ハ、人手ニ依ツテ作働スル槌1ニ依ツテ船體ノ外皮ヲ打ツ事ニ依ツテ發セラレル。ソノ振動ハ直チニ「リレー」3ニ傳ヘラレ、ソシテ接觸6, 7ヲ開放スル。スルト電磁石ノ發條「アーマチユア」11ガ離サレル。コノ「アーマチユア」ハ圓板12ニアル突起13ヲ打チ、ソノ圓板ヲ廻轉サセテ發條15ヲ捲上ル樣ニサセル。圓板ニハ鏡17ガ取付ケラレテキル。反響音ハ、電位計20ヲ通シテ電池21ニ依ツテ電流ヲ供給サレテキル水中聽音機ニ受入レラレル。ソノ刺戟ハ增大サレテ、變壓器26ヲ通シテ「ネオン」管27ヲ閃光サスノデアル。ソノ際發セラレタ光ハ「レンズ」32ヲ通過シ、鏡17ニ依ツテ反射サレテ半透明ノ目盛板28ニ當テラレル。コノ目盛板ニハ直接深度ノ目盛ヲシテ置イテモ良イ。Fig. 3及ビFig. 4ニ示スモノハ變形デアツテ、指針33ガ圓板12ニ取付ケラレテキテ、指針ノ先端ニ鏡34ガ取付ケラレテキル。指針ハ、「ラ

FIG 3.

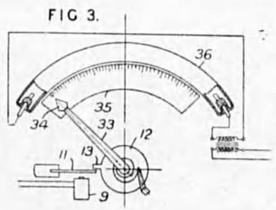


FIG 4

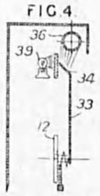
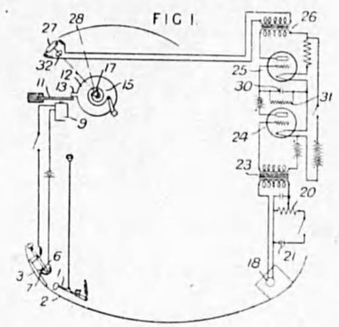


FIG 1



ムブ」39ニ依ツテ後側カラ照ラサレテキル目盛板35ニ對シテ動ク樣ニナツテキル。「ネオン」管36ハ指針ノ上方ニ位置シテキテ、反響ガ到着シテ「ネオン」管ガ閃光サセラレタ時、ソノ光線ハ指針ノ鏡34ニ依ツテ反射サレテ、ソノ爲指針ノ位置ヲ知ル事ガ出來ルノデアル

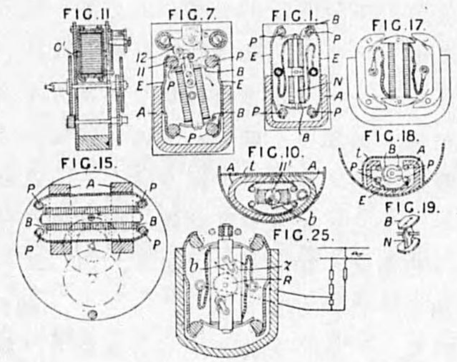
明細書 (242,940號 (Class118 (ii,), Signals) 參照)

英 371,330 (XVIII)
(Oct. 17, 1930))

電氣時計
Electric clocks

發明者
Soc. Anon. des Etablissements L. Hatat, Paris.

之ハ時計ヲ動カス爲ニ特ニ兩極ニ帶磁セル電磁石ヲ有ス、之磁石ハ永久磁石Aノ磁場內ニ作動スル金屬極片Bヲ有スル「コイル」ヲ捲キツケタル心Nト「コイル」ノ軸ニ並行ニ置カレタル鋲柱Pノ若干數トアル程度ノ彈力ト撓曲性ヲ有シテ「コイル」ニ曲ゲラレテ永久磁石ニ磁氣的ニ連結サレテル板Eノアル部分トヨリナル。永久磁石ハ「コバルト」鋼ヲ良シトシ他ノ磁氣回路ノ部分ハ「ニツケル」又ハ硅素ノ合金鐵ヲ可トス。Fig.1ニ示ス型式ニテハ「コイル」ハ2ツノ部分ヨリ成リ樞ハ心ヲ通過シ極片Bニ捻ヂ込マレ2ツノ眞鍮ノ受金ニ乘ツテキル樞ハ單一ノ「コイル」ト交互ニ使用セラル。極片Bハ要求スル感度ニヨリテ種々ノ方法デ形成サレル。「コイル」交流又ハ連續電流何レヲモ供給スルコトガ出來ル但シ後者ノ場合ハ復動作用ハ發條ニヨリテ作動セラルヽ、Fig.19ニ示ス如ク可動心ト極片トハ相互ニ積分セラル卽チ刻印ハ Fig. 17ニ示ス如ク可動心ニモ固定極ニモ双方共通ニ使用セラル、 Fig. 18ハ、「コイル」ガ回轉軸ト同心圓ナル型式ヲ示ス。兩極帶磁石ハ出來ル丈最少ノ容積ヲ示ス樣ニ形成サレル故ニ之ヲ時計ニ連結シテ使用セラレ半透明ノ「ダイヤル」ガ後方ヨリ照明セラレルト陰影ガ小クナル。 Fig. 11ハ適當ナル排列ヲ示ス其ニ於テ「ピボツト」O^1ノ週リノ「コイル」ハ振動ス、時計ト分針ハ「ラツチエツト」ト爪ト齒ノ嚙合トニテ動ク、「コイル」ノ長サガ時計ノ函ノ半徑ヨリ大ナル時ニハFig. 15ニ示ス樣ナ裝置ガ使用サレル、若シ不斷ノ振動ヲ要スル時ニハ例バ時計ヲ捲ク機構



ノ様ニ水銀又ハ他ノ遮斷器ガ使用サレル、Fig. 7ハ遮斷器ヲ示ス之ハ振動「コイル」ニ固定シ磁氣性金屬デ作ラレタル樞軸部12ト一處ニ作動スル接觸針11ト導體ト不導體ノ部分等ニヨリテ成立ツ、12ナル部ノ緣ハ一方ノ側又ハ他ノ側ニ「ピン」11ニテ開通サレシ動作ハ固定極片 P ノ1ツノ引力ニテ完全サレル様ニ形成サレテ居ル、而シテ12ナル部分ノ導體部ハ一方向ニ於ケル動作ノアル部ノ區間ヲ占メ、「コイル」ノ復動作ハ發條ニヨリテ作動サレル。Fig. 10ハ懷中時計ノ枠ヲ示ス、其ニテハ懷中時計ニ使用サレル「ゼンマイ」ニ變型ノ遮斷器トシテ應用サレテヰル。「コイル」ハ一部分ハ導體トシテ又一部分ハ不良導體トニ其ノ上ヲ摩ル刷毛 b ノ動作ヲ分ツ處ノ「ピン」11^1 ヲ乘セテヲル。磁性幕 K ハ懷中時計ノ精緻部ヲ强大ナ磁場ヨリ庇護シテヲル、遠方制御及ビ時間分布ニ對スル利用ニ於ケル2ツノ位置ノ原動力ニ就テハ上述ノ接觸法ノ利用ニ關係スルモノデアル。變型トシテ極片 P ト彈力部 E トハ省略サレテ「コイル」ハ一端ニ「ピボット」サレテ固定シ可動性ノ永久磁石卽チ捲キツケラレナイ心ト共ニ作動スル様ニナツテ居ル、Fig. 25ハ振動「コイル」ノ不正ナラザル廻轉ヲ得ル方法ヲ示ス、「コイル」ノ動作ノアル方向ニ於テ小齒車 Z ハ腕 b ニヨリテ動カサレテ車輪 R ヲ締メ付ケルモ反對ノ方向ニ動ク時ニハ自由ニ廻轉スル。小齒車 Z ハ齒ノナイ車輪ニ作用スル「カム」デ代用サレテモヨイ、變型ニ於テ動作ハ振動「コイル」ヲ生ズル交流ニヨリテ制御サレル「クラツチ」ニヨリテ移動サレル。

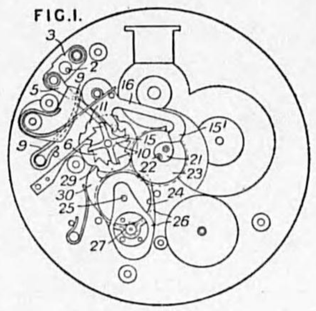
英 372,861 (YVIII)
(March 2, 1931)

秒時計
Stop-watches.

發明者
Melli, V.,
Switzerland.

中央秒針秒時計ハ秒針軸22ニ於ケル中央部ニ作用スル1列ノ梃子16ヲ制御スル制御圓板11ニ作動スル推力機構ト、動作ニヨリテ驅動スル車輪27ヲ受ケテ居ル可搖性ノ弓26トヨリ成ル此弓ハ又秒針軸上ノ車輪ト共ニ可動的ニ支持サレテヰル。梃子3ガ枠ノ外ニアル押釦ニヨリテ「ピボット」2ノ廻リニ右廻リニ廻轉セラルレバ爪5ハ爪車ノ齒ヲ右ノ方ニ1齒丈送ル様ニ發條9ニ對シテ作動ス。爪車ト固定セル星狀車輪ガアツテ、其星狀車輪ハ梃子16ノ1端15ニ作用スル而シテ其他端15^1ハ中央ノ秒針ノ軸22ノ上ニアル心臟狀ノ「カム」21ト共ニ動作ス。又車輪6ニ固定セル「カム」11ガアツテ枠26ノ端30ヲ受ケテル刻ミ29ト共ニ動ク、其端ハ28ニ樞軸セラレ又25ニ「ピボット」サレタル車24ハ中央ノ秒針車23ニ動作驅動ノ小齒車27カラ動作ガ傳ヘラレル。3, 5ナル部分ノ連續動作ハ星狀車輪10及圓板11ヲ廻轉セシム其ニヨリ車24, 23ハ嚙合ニナリ又ハ外レタリシ梃子16ハ「カム」21ノ位置ヲ發動、停止、又ハ零ニ連續的ニ時計ニ定ムル。

FIG. I.



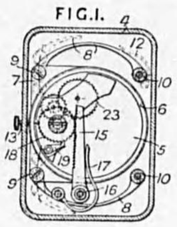
英 373,081 (XVIII)
(Dec. 21, 1931)

自働捲時計
Watches.

發明者
Uhrenfabrik La Champagne
L. Muller & Co. Akt.-Ges.,
Switzerland.

捻捲裝置——自動捻捲時計ニ於テ仕掛5ハ捲錘及輪6ニアル軸受耳7ハ1ᵃニ於テ枠4ニ「ピボット」セラレシ彈力アル「リンク」8ニ9ニ於テ樞軸ニテ連結セラレテヰル。仕掛ハ斯クシテ平行4邊形ノ案内 9, 10, 10, 9, ニ支ヘラレテ居リ「リンク」8ハ制動子又ハ緩衝體トシテ作動スル戻リ發條12トヨク共動スル。仕掛ノ振動ハ16ニ於テ枠ニ「ピボット」サレタル齒弧15ニヨリテ捻捲機構ヲ作動セシム而シテ拘止爪19ト共ニアル爪車18ト係合スル爲ニ發條17ニヨリテ抑エラレ又捲付車23ト嚙合フ。摩擦「クラッチ」又ハ他ノ適當ナル方法ガ捲キ過ギヲ防グ爲ニ車18及23ノ間ニ備ヘ付ケラレル。手動軸13ハ枠4内ノ溝及若シ組立ラレテアルナラバ外枠ノ溝ヲ通シテ擴ガッテ居ル。

FIG.1.



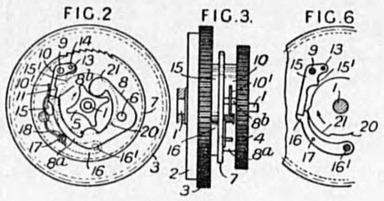
英 373,313 (XVIII)
(March 7, 1931)

自働時計ノねぢ捲機構

Autmatic Clockwork, winding mechanism.

發明者
Hasler Akt.-Ges. Vorm Telegraphen-werkstätte Von G. Hasler. Switzerland.

周期計算器型速度計ノ時計仕掛ハ所要ノ速度ニ軸ニヨリテ驅動セラルヽ嚙合齒車ヲ弛ヤカニ乘セテ居ル捲軸1ト、而シテ其驅動軸ニハ星狀輪5ヲ待ツテ居ツテ又其ノ上ニ發條函2ヲ弛ヤカニ乘セテ居リ其發條ノ1端ハ函ニ連結サレ他ノ端ハ軸1ニ連結サレテ居ル。發條函2ハ嚙合車3ニ固定サレ其車ハ時計仕掛ノ軸ニヨリテ驅動セラルヽ。捲軸ニハ爪車7ガ固定シテ居リテ逆回轉ヲ防止スル樣ニ成ツテ居ル又「ピン」6ニテ之ニ樞着セラレシ「アンクル」8ガアル。「アンクル」8ノ延長部8^aト齒8^bハ內方ニ突出セル齒11ヲ有セル2ツノ腕ノアル釋放杆10ニヨリテ制御セラレル而シテ其「アンクル」ハ爪車7ニ9ノ處デ乘ツテ居ル。發條10^2ノ1端ハ爪車7ニ固着シテ釋放杆ヲ齒8^bノ徑路ニ押シツケテル。釋放杆ノ內方ノ端部ハ其ヲ受ケテル「ピン」13ニヨリテ限定サレ爪車7ノ孔14ヲ貫ク間隙ノアル量丈通過シ又他ノ面ニ於テハ9ノ處デ爪車7ニ乘ツテル挺子15ト係合シテ居リ而シテ16^1ニ於テ爪車ニ乘ツテル拘止爪16ニヨリテ制御セラルヽ。發條10^1ノ他端ハ爪16ノ「ピン」17ヲ內方ニ押シツケ爪車ヲ通過セシメ爪16ノ自由張リ出シノ端ヲ發條筒ニ固着セル「カム」圓板20ノ上ニアル突起21ノ到達ノ範圍ニ置ク。挺子15ハ又「カム」21ノ到達範圍ニ突出セル突起15^1ヲ有シテル。仕掛トシテハ親發條ヲシテ一定ノ小量ノ平均張力ニヨリテ時計ノ「カラクリ」ニ均一ナル驅動力ヲ生ゼシメル事デアル。



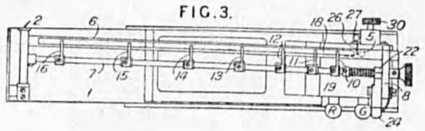
英 374,048 (XVIII)
(Feb. 19, 1931)

瞬間時刻ノ測定
Measuring short-time intervals.

發明者
Ihde, H. A.,
Sweden.

人間ニヨリテ測リ得ラルヽ小ナル時間例バ道路上ノ2ツノ占メラレタル電氣的接觸ノ間ヲ車ガ過ギルトカ又ハ刺激ニ應ズル如キ小ナル時限ヲ測ル裝置ハ2ニ於テ基板1ニ樞着サレタル管6、及ビ其ノ自由端ニ係合セル溝ノアル支柱デ傾イテ支エラレテ又其傾キヲ加減スル事ガ出來ル。管ハ其上方ニ18ノ處ニ溝ヲ切ラレ而シテ任意ノ時ニ於テ止メ26カラ放サレル球5ヲ持ツテヰル而シテ發條壺ノ中ニアル軸7ノ上ニ載ツテル指標10—16ノ數ノ1ツニヨリテ後デ止メラレ且軸カラ放レテ溝18ノ中ニ廻ラシメル。指標ハ軸ニ乘ツテル切リ缺ノアル圓板22ト係合セル發條爪24ニヨツテ溝カラ放レテ正位置ニ復スル。管ノ中ノ球ノ位置ガ爪24ヲ扛ゲテ止ツタ時ニ刺激ニ應ジテ測ラルベキ時ヲ示ス。指標10—16ハ時間ノ間隔ニ等シキ時ヲ示ス樣ニ一定ノ間隔ヲ置カル、例バ0.05秒等ノ如シ。變型トシテ指標ハ「ゴム」又ハ同樣ノモノデ被ハレタ目盛シタ棒ヲ受ケテヰテ球ヲ留メルカ又ハ受ケラレル樣ニ附イテヰル。尙他ノ變型トシテ2ツノ同心圓ノ溝ノアル管ガアツテ其內部ニ球ガ發條ヲ放セバ轉リテ管ノ下ニアル多クノ仕切リノ1ツニ落下セシメル樣ニナル。他ノ變型デハ上述ノ如キ指標ガアツテ管ハ螺旋形デアル。他ノ構造ノモノデハ

FIG.3.



(1) 滑車ヲ周リテ1條ノ綱アリテ其ニ不均衡ナル錘アリテ其綱ガ放サルレバ滑車ハ轉リテ「ブレーキ」挺子ニヨリテ廻轉ハ止メラレル。作動ノ時間ハ滑車ニ嚙合ツテル指示ニヨリ轉リ出ル目盛ニヨリテ示サレル。

(2) (1)ニ於ケル錘ハ挺子ノ腕ニ接着シテ居リ其ニ指示ガ嚙合ヒ又ハ直接ニ附着シテヰル。

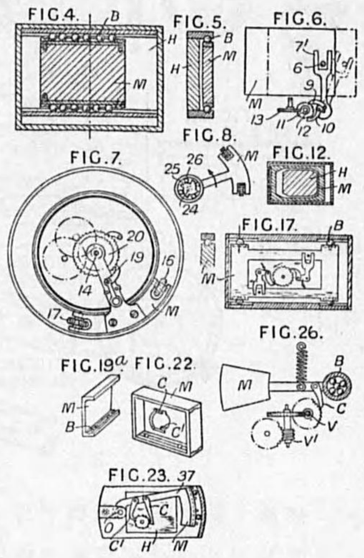
(3) 重キ「ナット」ヲ1ツ又ハ以上ノ摩擦ナキ「ネヂ」ノ上ニ廻リテ降下セシメテ「ブレーキ」ニテ之ヲ止メル「ナット」ノ上ニ環狀ノ突起アリテ作動ノ時ヲ目盛上ニ指示ス。「ネヂ」ト「ナット」ハ相對的ニ交互ニ取リ代ヘテモ宜シイ。作動物ノ解放ト「ブレーキ」ハ何レノ場合ニモ電磁石ニ作用セラレル。

英 374,417 (XVIII) (Dec. 1, 1930)

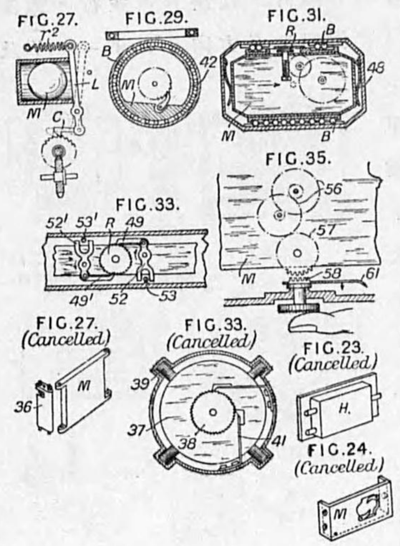
自己捲時計
Self-winding watches.

發明者 Soc. Anon. Des Etablissements L. Hatot, Paris.

此型ノ自己捲時計ハ錘ガ振動シテ(携帶者卽チ支持ノ動作ニヨリテ)自動的ニ親發條ヲ捲上ゲルモノデ錘ガ球入軸受ノ上ニ載ツテル事ガ特徴デアル。錘 M (Figs. 4.5及 6) ハ時計ノ仕掛 H ニ並行ニ球入軸受 B ノ上ニ滑リ而シテ「ピン」6 ニテ滑動ノ各方向ニ「フォーク」7^1 及 9, 10 ナル部分ヲ爪車11ヲ驅動セシメル樣ニ作動セシム而シテ芋蟲車 12, 13 ヲ親發條ニ作用セシム。旋回發條又ハ扁平發條ハ錘 M ヲ其平均ノ位置ニ復エサシム。Fig. 7 ニ於テ錘 M ハ「ローラー」16, 17 ノ上ヲ中心軸14ノ廻リニ動キ而シテ爪車ト爪 19, 20 ヲ親發條ニ驅動ス。變型トシテ (Fig. 8) 錘ハ軸24ヲ一方球「クラッチ」25, 26 ヲ通シテ驅動ス。Fig. 12 ニ於テ錘 M ハ仕掛 H ノ廻リニ球入軸受ノ中ニ乘リテ居ツテ Fig. 6 又ハ Fig. 17 ニ於ケル如ク捲上ゲヲナサシム。錘ヲ支持セル球入軸受ハ仕掛ノ上ニアツテモ宜シイ。Fig. 19[1] ニ於テ重金屬(例バ金ノ如キ)ノ薄キ錘Mハ3ツノ側ニ於テ仕掛ヲ取リ圍ンデ居ル。Fig. 22 ニ於テ錘 M ハ函狀ヲナシ爪 C, C^1 ヲ受ケテ振動ノ兩方向ニ普通ノ爪車ヲ作用セシム。Fig. 23 ニ於テ錘 M ハ仕掛 H ノ一端ニアリ其軸 O ハ他端ニアリ而シテ錘ハ仕掛ノ兩方向ニ腕37及爪 C, C^1 ヲ通シテ作動ス。Fig. 26 ニ於テ錘ハ中部球入軸受 B ノ廻リニ振動シ爪 C 及「ウオーム」V, V^1 ヲ驅動ス。Fig. 27 ニ於テ錘ハ挺子 L ニ對シテ突キ當ル球 M デ出來テ居リ發條 r^2 ノ作用ニ對シテ爪 C ヲ作動セシム。此構



造ニ於テ其ノ親發條ノ捲キ方ハ發條r^2ノ强サニヨリテ限定セラレル。變型トシテ2ツノ球ハ親發條ニ普通ノ驅動ヲ作用セシムル爲メニ2ツノ挺子ヲ作用セシムル樣ニ用ヰラレル。Fig. 29 ニ於テ錘 M ハ偏心體ニシテ球入軸受 B ノ輪42ニ附着シテル而シテ此變型トシテ此錘ハ扇形ヲナシ内部ノ輪42ハ省略セラレ錘體ハ發條ニヨリテ平均ノ位置ニ復エサレル。Fig. 31 ニ於テ錘 M ハ其自身仕掛デアツテ球入軸受 B ノ間ニ作動シ發條48ニテ平均ノ位置ニ復歸セシメラル。仕掛ニ於ケル挺子52, 52¹ (Fig. 33) ハ時計枠ノ上ニ柄53, 53¹ ト共動スル「フオーク」ヲ有シ其ニヨリテ爪49, 49¹ ハ爪車 R ヲ仕掛ノ如ク振動セシム。仕掛ハ手ノ入レラレル、爪車及手働軸ニ對スル開キヲ殘シテル塵除ケノ覆ヒノ内ニ包マレル事モアル。捲過ヲ防グ爲ニ發條デ押シツケテル爪ヲ用フル事モアル。



手働裝置——仕掛自身ガ振動錘ヲ構成スル場合ニハ手働輪 58 (Fig. 35) ハ原則トシテ連續 57, 56 カラ扁平發條ニヨリテ外レテ居ルモ指壓ニヨリテ嚙合サレ得ル。

審査ノ爲メニ公開セラレシ明細書 Sec. 91 (3) (a) ハ又次ノ變型ヲ說明スル。球入軸受ニ支持サレル代リニ時計仕掛ケノ廻リニアル捲錘 M ハ孔及研磨セル鋼ノ棒ニヨリテ滑動スル、(Figs. 23 (沫消)及24沫消)。Fig. 27 (沫消)ニ於テ錘 M ハ時計仕掛ニ各端ニ於テ短ク樞軸サレタ部36ノ上ニ掛カツテ居ル。Fig. 33 (沫消)ニ於テ時計仕掛37自身捲錘トナリテ發條又ハ「ゴム」ノ制動子39ニ可振動的ニ支持セラレ爪車

及爪 38, 41 ヲ作動セシム。尙更ニ變型トシテ Fig. 26 ノ型ニ相似セル說明ノ構造ナルモ普通ノ爪車ニ作用スル2ツノ部分ヲ受ケテ居ル2ツノ錘ヲ持ツテ居ル。他ノ構造ニ於テ可動性ノ錘ガ錘ヲ受ケテ降伏セル扁平板ニ附着シテ居ル。事項ハ受理セル明細書ニハ表ハレテナイ。

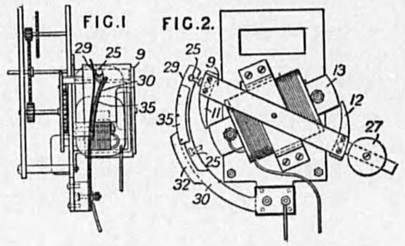
電氣時計

英 374,991 (XVIII)
(April 7, 1931)

Electric clocks.

發明者
Tokumi, U.,
New York U. S. A.

電磁石ガ補ハレタ驅動仕掛ニ於テ發電子枠ハ其中間ヲ通ル樣ニ附屬セル接觸ヲ具ヘ其回復ガ完結スル迄發條腕ノ1對ヲ分離シテ居ル。分銅ノ樞着サレタ枠9ハ電磁石13ノ發電子11, 12ヲ受ケテ爪及爪車ニヨリテ時計ノ連續セル車ヲ驅動シ其組立直シガ必要ニナレバ其上ノ接觸25ハ上ニ昇リテ働キツヽアル發條25ト係合スルカクシテ磁石ハ勢ヅケラレテ枠ハ左廻リシテ分銅27ヲ扛ゲル。接觸25ガ降ル時ニハ其ハ發條29ト張出シ部32ト共ニ形成サレテル反對ノ發條30トノ中間ヲ通過ス。之ガ到達セル時ニ發條ハ其反撥力ニヨリテ發條ヲ障リナク復エサセル樣ニ接觸ヲ自由ニスル。金屬板35發條30ヨリ絶緣サレテ接觸ノ爲メニ發條ノ摩耗スル事ヲ防止スル。



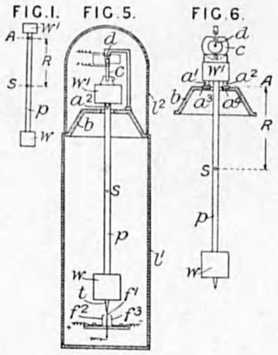
時　計

英 375,653 (XVIII)
(Oct. 15, 1931)

Clocks.

發明者
Schuler, M.,
Germany.

振子——測時用ノ振子ニ於テ支持點Aカラ重心點S迄ノ距離ハ重心點ヲ通過スル軸ノ周リニ振子質量ノ廻轉半徑Rニ等シク振子ノ振動ノ軸ニ平行デアル。此半徑ハ次ノ公式ニヨツテ與エラレル $R=\sqrt{\frac{I}{m}}$、茲ニmハ振子ノ質量、Iハ重心ヲ通ル軸ノ週リノ振子ノ慣性「モーメント」。振子ハ底部ニ錘w附加錘w^1ヲ有スル杆ヨリ出來テ居リ1ハ上ニ2ハ下ニ或ハ3ハ振子ノ支持ノ點ニ於テ附屬ス。振子ハ錘ナシニ圓筒狀デ出來テ居ル場合モアル。1ト2ニ於テハ附加錘ハ底部ノ錘ヨリモ輕イカ又ハ重イカデアル。Figs. 5, 6 ハ其ノ一部ナル1ニヨル錘ヲ持ツテル振子ヲ示ス。振子pハ支持b上ノ寶石a^3, a^4上ノ「ナイフ、エツヂ」a^1, a^2デ支ヘラレテヰル。圓筒杆ノ振子ノ場合ニハ $R=\frac{1}{2}\sqrt{r^2+\frac{1}{3}h^2}$ 茲ニrハ半徑ニシテhハ圓筒杆ノ長サデアル。



電氣時計——Figs. 5及6ハ振子ガ電磁石的ニ再勢力ヅケラレル排置ヲ示ス。振子ハ永久馬蹄形磁石cヲ有シ「コイル」dニ近接シテ搖動ス、此「コイル」ハ振子ノ端tニヨリ押エラレテル接觸片f^1ニ對セル接觸f^2又ハf^3ヲ通ジテ振子ノ搖動ノ各方向ニ勢附ケラレテ居ル。全裝置ハ水素又ハ「ヘリウム」ヲ以テ充タサレタル氣密ノ函ニ密閉サレル方ガ良イ。

附加錘w^1ヲ有スル振子ハ丁度振子ノひげぜんまいノ支持ノ下ニアル、普通「アンクル」仕掛ニ示サレテアル。

英 375,871 (XVIII)
(April 2, 1931)

時計機構
Clockwork mechanism.

發明者
Olechnovitch, N., and Smith & Sons (Motor Accessories) London.

ねぢ捲裝置；捲過防止——主發條158ハ內部ノ端ヲ時計運動仕掛42ノ軸46ニ固定セラレテル而シテ其外部ノ端ハ軸46ノ上ニ緩ヤカニ乘ツテル車50ノ鍔54ノ內面ニアル齒67ト嚙合フ爪58ヲ持ツテ居ル。車50ハ速サヲ測ルベキ部ニ回轉セラルヽ爪車14ノ一群ヲナセル嚙合車56ト嚙合フ齒55ヲ持ツテ居ル。上述ノ排列ニ於テ主發條ハ實際ニ於テ不可變張力ニヨリテ捲カレテ居ル、捲過ギハ齒57ノ上ヲ爪58ヲ滑ラセル事デ防止サレル。明細書7385/03, [Class 37, Electricity, Measuring &c.], ヲ參照セヨ

FIG.2.

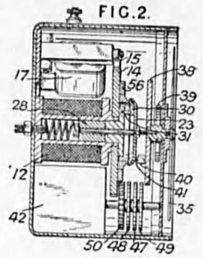


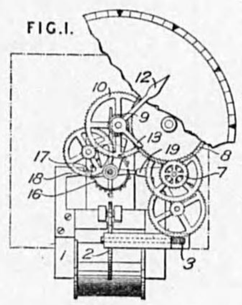
FIG.3.

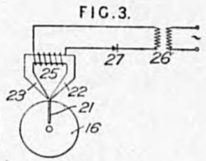
英 378,511 (XVIII)
(May 14, 1931)

電氣時計
Electric clocks

發明者
Siemens & Halske Akt.-Ges,
Berlin.

標準時ヲ示ス事；ねぢ捲裝置、電氣的裝置——蓄勢力機(卽チ發條)ニヨリ機械的ニ驅動セラルヽ時計ニテ平衡(卽チ振子)ノ振動ノ周期ヲ保持スル樣ニ備ヘテル方法ハ供給交流ノ半周期ノ既定サレタ數ニ等シイ。連續車9, 10ニヨリテ針12, 13ヲ驅動スル函8ノ中ノ主發條ハ滑リ接手ヲ包含スル連續車3—7ニヨリテFerraris電動機1, 2ニヨリテ捲カレテ支持サレテ居ル連續車9, 10ハ極18, 19ノ中間ニ搖動スル處ノ磁石針17(卽チ永久磁石)ト共ニ平衡ヲ有スル繰縱裝置ニヨリテ制御サレル。之等ノ極ハ發電機固定子1ノ延長デアル。平衡ノ各振動ノ間ニ供給交流(卽チ主照明)ニヨリ18, 19ニ於テ生ジタ磁場ニ幾多ノ半分波ニヨリテ振動スル。其ノ1ツノミガ例バ第1ノモノガ常ニ「ピン」17ガ其瞬間ニ於テ極18, 19ニ接シテヰル「ピン」17ニノミ作用ス。平衡ノ振動ガ上述ノ半分波ノ多數ヨリモ長イカ又ハ短イ時間ヲトル時ニハ最初ノ半分波ニ相當スル次ノ半分波ニヨリテ平衡ヲ遲レサセルカ又ハ進メサセル、カクシテ平衡ハ位相ニ持チ回エサレル。變型トシテ極18, 19ハFerraris電動機ヨリ離レタル部ニアツテモ「モーター」ノ第2次捲ヨリ勢力附ケラルヽノモアル。又更ニ變型トシテ平衡16(Figs. 3—5)上ノ棒磁石21ハ直接照明系統ニ連結サレルカ又ハ變壓器26ヲ通シテ連結サレル磁石25ノ極22, 23ニヨリテ制御サレル。上記ノ如ク平衡ガ特殊ノ半分波(Fig. 5ノ横線ノ部)ニヨリ位相(搖動ノ1方向)ニ持チ來タサレ反對ノ極性ノ半分波ハ直チニ整流機27ノ使用ニヨリテ(Figs. 4及5)先キノモノ及次ノモノハ揉消





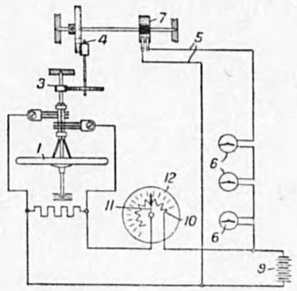
サレル。搖動ノ他ノ方向ニ於テハ平衡ノ調正ハ影響シナイデ供給サレル周波ニ影響スル、而シテ平衡器振動ノ timing ハカクシテ磁石21ガ消サレタ半分波ガ本當ニ通過スル時ニ於テ極ニ達スル事デアル。

英 379,859 (XVIII)
(Sept. 8, 1931)

電氣時計
Electric clocks

發明者
Landis et Gyr Soc. Anon.,
Switzerland.

乘物特ニ船ノ如キ子午線ヲ横ギリテ動ク系統ノ電氣時計ニ於テハ衝動ハ電氣的ニ抵抗ヲ通リテ供給サレル制御裝置ニヨリテ第2次ノ時計ニ與ヘラレル、其抵抗ハ乘物ノ速度及ビ方向ニヨリテ變化シ子午線ニヨリテ時間(要スル間隔ニ於テ)ヲ調整スルコトガ出來ル。電源9ヨリ抵抗10ヲ通リテ供給セラル、直流分捲「モーター」1ハ2次時計6ノ電路5ニ於ケル瞬動「スキッチ」7ヲ動カス嚙合車3, 4ヲ驅動スル。抵抗10ノ接觸腕11ハ乘物ノ地理的位置ニヨリテ目盛12ニ添フテ取リツケラレル。腕ハ目盛ニ添フテ周期的ニ人手デ動カサレテヨリハ衝激ガ2次時計ニ與ヘラル、割合ハ部分的ニ2次時計ヲ調正スル樣ニ變化スル。腕11ヲ移動スル量ハ乘物ノ速度ト運動ノ方向ニヨリテ表ヨリ決定セラレル。上記ノ制御裝置ハ時計系統及地方時ニヨリ與ヘラレル時間ニ應ズル時間ノ一定範圍内ニ測ラル、測時計ト結ビツクルヲ得。例ヘバ測時計ハ目盛ヲ動カスサスレバ其上ニアル接觸裝置ノ回轉部ニ結ビツケル指針ヲ動カス。此目盛ノ代リニ測時計ノ秒針ヲ用ヰテモヨイシ裝置ヲ加減シテモヨイ、カクシテ指針ト秒針ハ連續シテ一致スル。制御方法ノ殆ンド連續的ノ調整卽チ地方時ヲ示ス組織ハ抵抗接觸11ヲ差動車ノ方法デ一方ニ於テハ速度(卽チ推進軸)又他方ニ於テハ船ノ方向(卽チ舵又ハ舵ヲ定ムル舵取機構ノ指示器)ニヨリテ制御スルヲ得。制動裝置ハ乘物ガ急速ニ廻轉スルコトノ缺點ニ打勝ツ爲メニ用ヒラレル。裝置1ハ磁力電働機及蓄電器ヲ有スル「アムペーア」時「メーター」デ出來テルカ又ハ勵磁場ヲ有スル電働機デ出來テ居ル。適當ナル交流電源ヲ利用シ得レバ同期電働機ト共心透導計ヲ用ヰテモ宜シイ。



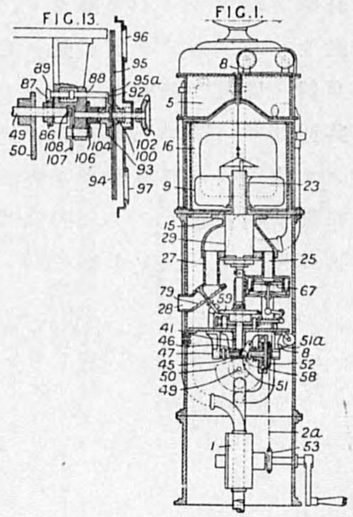
液體配給裝置

英 340,668 (XVIII)
(Oct. 22, 1929)

液體定量ノ配給及指示裝置
Delivering and indicating measured quantities of liquid.

發明者
Soc. Industrielle d'Articles d'Eclairage. Paris.

固定室裝置——液體ハ「ポンプ」1ニヨリ頭槽5ヘ、次ニ此槽カラ貯室16ヘ送給サレル。此貯室内デ溢レ管23ノ水準ニ保タレテカラ、棒「ピストン」9ニヨリ配給量ガ排出サレル。調整弇15ノ弇殼29ハ鏈2ᵃト鏈車52, 53, 芋虫車45, 46ト芋虫軸41ニヨリ「ポンプ」軸カラ廻轉サレル。棒「ピストン」9ハ綱索8ニヨリ押上ゲラレルガ、此綱索ハ鏈車軸47カラ驅動サレル軸49上ノ歪輪50ト聯動スル轉子51ヲ有スル槓杆51ᵃニ連結サレテヰル。弇殼29ノ門口ハ、液體ヲ頭槽5カラ送給スルタメニ貯室16ヲ連續的ニ開クガ、過剰液排出管25ト連結シテアルカラ、液面ヲ溢レ管23ノ頂ト同高ナラシメ、配給量ヲ管27カラ排出サセルコトガ出來ル。此循環過程ニ於テ、第2回目ノ動作ガ開始サレナイウチニ第1回目ノ液面同高並ニ配給量排出動作ヲ確實ニ完了サセルタメニ、弇殼驅動裝置中ニ滑球聯動裝置58ト應壓裝置67, 79ヲ挿入サレル。此等ノ裝置ニヨツテ調整サレル捕子ハ、圓盤59並ニ其突起中ノ凹部ニ嵌合シ、必要ナ行程ガ完了サレルマデ軸41ノ廻轉ヲ停止スル。配給用蛇管ト管28トノ連結部分ニ擴ガリ又ハ貯器ヲ設クレバ、「ポンプ」ヲ休メルコトナク連續的ニ排出スルコトガ出來ル。此擴ガリ部分ニハ透明ナ羽目ヲ用ヒルコトモ出來ル。



記錄裝置ニ就イテ——配給量ヲ豫定量ニ限定スルタメノ指針裝置ハ、歪輪50ノ軸49カラ作働サレル。發條調整杆88ハ夫々軸49及

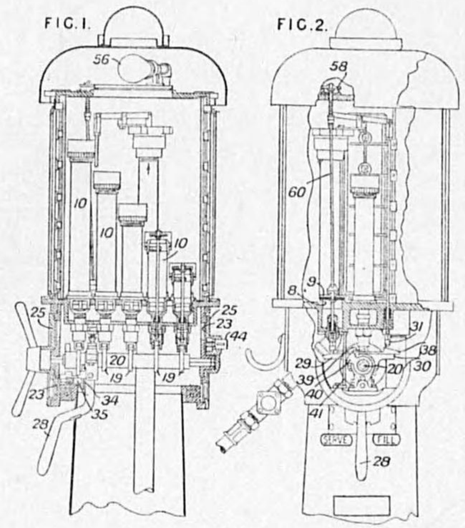
目盛圓盤94ニ固定サレタ圓盤86, 93ノ凹部87, 92ニ嵌合スル。補助目盛圓盤95ハ摩擦圓盤95ᵃニ、而シテ後者ハ肩100ニヨリ目盛圓盤94ニ壓シツケラレル。前圓盤95ハ窓96カラ圓盤94ノ指示ヲ看讀出來ルヤウニ充分切リ開カレ、一方此等ノ指示ハ窓97カラモ讀ミ取ルコトガ出來ル。配給ヲ完了スルト、圓盤94ノ指示ハ零位ニ戻サレ、一方前圓盤ハ廻轉シ配給量ノ指示ヲ下方ノ窓カラ現シテ來ル。突起瘤102ヲ引張レバ、肩100ハ引キ下ゲラレル。此目的ノタメニ重要ナ前圓盤ハ零位ニ戻リ、聯動裝置104ガ分離スルト、杆88ノ端末カラ引キ離サレ、摩擦坐金95ᵈニヨリ圓盤95ニ再ビ合致サレル。斯クテ所要量ヲ窓96カラ讀ミ取ルコトガ出來ルマデ、2個ノ圓盤ヲ廻轉サセルコトガ出來ル。突起瘤102ヲ釋放スルト、其凹部92ハ最早記錄ニ止マツテヰナイカラ、杆88ヲ壓シ戻ス。斯クテ他端89ハ圓盤86カラ釋放サレ、軸ハ「ポンプ」裝置カラ自由ニ廻轉出來ル狀態トナリ、凹部92ハ正齒車裝置106, 107, 108ニヨツテ、再ビ杆88ト一致シテ來ル。

英 341,678 (XVIII)
(Dec. 18, 1929)

液體定量ノ配給裝置
Delivering liquids in measured quantities.

發明者
W. A. Risbridger
and J A. Risbridger.
London.

固定室裝置——豫メ高サヲ決定シタ溢レ管10ヲ調整スル弇ハ、此等ノ部分ガ同時ニ作用スルコトヲ防止スルタメノ流出弇8ト連通サレル。軸20ニ固定サレタ歪輪19ハ溢レ管ヲ調整スル。其据付位置ハ圓盤25ノ開口ノ後、穿孔サレタ圓盤23上ニ示サレテヰル。送給並ニ流出弇ハ、搖子臂29, 30ニ作用スル槓杆28ニヨツテ制御サレル。槓杆28ハ、其上ノ歪輪34ガ發條壓迫針35ヲ指示圓盤23ノ孔ノ1ツニ押込ムコトガ出來ルトキニ於テノミ、運動スルコトガ出來ル。操作順序ハ、垂直軸39ニ樞軸附ケニサレ、歪輪軸20ノ迫持臺40, 41ト共同スル歪輪面ヲ以テ構成サレ、夫々構枠ニ固定サレタ間隔材38ニヨリ保證サレル。柄28ノ作働ハ、杆41ト接觸スルコトニヨツテ間隔材38ヲ送給弇31ヨリ搖リ動カシ、此移動ハ歪輪40ニヨツテ歪輪軸20ヲ零位ニ置クトキニ起ツテ來ル。計量室ノ吸氣口58ハ流出弇9ト同時ニ開クタメニ、杆60ニヨツテ揚起サレル。對重、鍵44、電燈56モ亦裝着サレル。



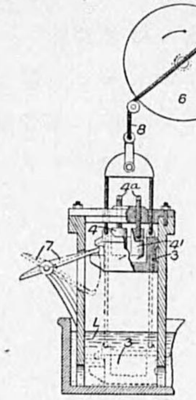
英 342,608 (XVIII)
(April 22, 1930)

測定シタル液量ヲ揚水スル裝置
Delivering measured liguid quantities

發明者
Zahn & Co. Bau Chemischer Fabriken Ges.
Berlin.

移動室裝置、容器3ガ液體供給槽ヘ漬カリ、索8及ビ曲肱6デ持チ上ゲラレ、所要ノ量ガ、軸4^aヲ動カシテ調整サレル置換器4, 4^1ニ依ツテ傾斜シテヰル斜溝7ヘ揚水サレル。調整ヲ精密ナラシムルタメニ、置換器4^1ハ4ヨリモ小型ニ作ツテアル。

FIG.2.

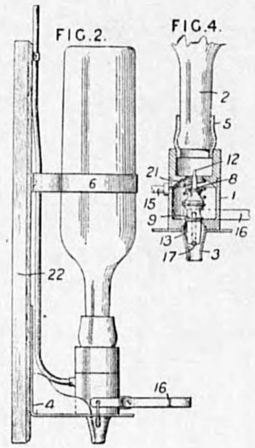


英 343,328 (XVIII)
(Feb. 26, 1930)

測定セル量ノ液體ヲ交付スル裝置
Delivering liquids in measured quantities.

發明者
Robertson, J. W
England.

測定室1ヘノ給入及ビ放出ハ上方及ビ下方弇面8, 9ヲ有スル構材ニ依ツテ管制サレル、相互ニ直角ヲナシテヰル案内肋材12, 13ハ弇面カラ突出シ、下方ノ肋材13ハ、嘴口3ノ孔ノ中ヲ動キ肋材13ニ取付ケテアル交叉「ピン」17ニ依ツテ手働挺子16ニ掛ケラレル。空氣管15ハ傾斜シテヰル上方ノ部分21ト境シテヰル室壁ヘ連結サレテヰル。「ゴム」套管5ハ壜6ノ水密ヲ保チ、腕金4, 6ヲ有スル支持裝置モ用意シテアル。

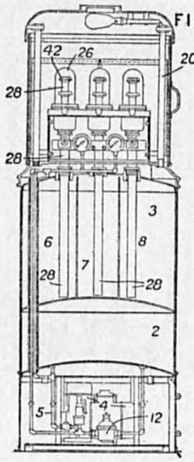


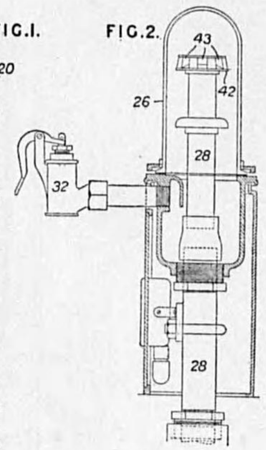
英 345,327 (XVIII)
(Dec. 14, 1929)

液體ノ分配裝置
Dispensing liguids.

發明者
Wagstaff, G. F., and Wayne Tank & Pump Co. Ltd., London.

液體ヲ分配スル裝置ニシテ Fig.1 及ビ Fig.2 ニ於テ密閉容器26ハ、液體デ空氣ヲ止メテル上部透明部内ニアリ、液體ハ氣壓ニ押サレテ供給水槽カラ逸出シ、管28ヨリ薄層トナツテ落下スル。空氣ハ管5ニヨリ壓縮機4カラ溜メ2ニ送ラレ、減壓瓣12ヲ經テ供給水層3ニ入ル。水槽3ハ分室6, 7, 8ニ分レ、ソノ上部ハ互ニ通ジテヰル。各分室ヨリ出タ液體ハソレニ相當シタ管28ヲ通ツテ押出サレ、板42内ノ放射路43ヲ經テ平衡ニ達スルマデ奔出スル。奔流ハ結合シテ薄層トナル。管28ヨリ徑ノ細イ出路「コツク」32及ビ裝置ノ前面ヲ閉ヂルタメノ回轉扇形扉20ヲ具ヘテヰル。管28カラノ出口ハ樋形ヲシテモヨク、且ツ液ハ垂直又ハ傾斜シタ透明或ハ反射面上ヲ流レテモヨイ。



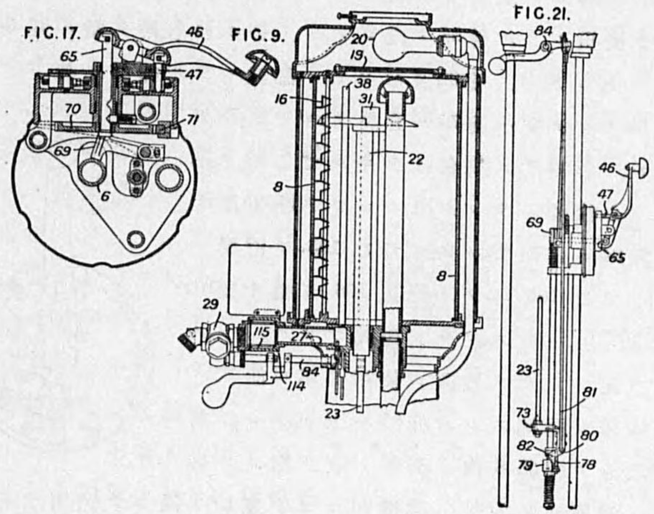


英 346,791 (XVIII)
(Oct. 14. 1929)

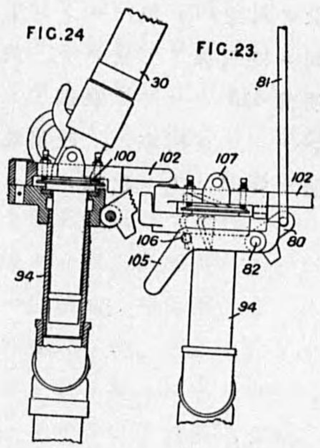
測量シタル液體ヲ放出スル裝置
Delivering measured quantities of liquids.

發明者
Eickmeyer, E. E.,
U. S. A.

コノ固定室裝置ハ「ポンプ」デ液ヲ硝子容器8ニ、溢レ管31ノ高サマデ入レ、次ニ加減管22ノ上面マデ放出スルモノニシテ、管22ノ

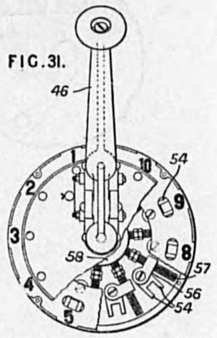


位置ヲ決定スルタメノ液量調整機構ヲ具ヘテヰル。管22ハ吐出瓣29ト聯動シテ何レカ一方ノミ使用サレルヤウニナツテヰル。てこ46ヲ廻轉シ、小齒車及ビ「ラツク」傳導裝置71, 70ヲ經テ管22ヲ調整シ、一方てこ上ノ壓力ニヨツテ「ピン」47ヲ所要量ノ液ニ相當シタ孔ニ挿入シ、且ツ吐出瓣29ノ作動軸84ニ連接シテル突起69ノ通路カラ他ノ「ピン」65ヲ引拔ク、吐出瓣ガ開カレテルトキニハ、突起69ハ給水



管6ト、放出中調整てこノ運動ヲ制止シテル「ピン」65ノ間ニ介在スル、正確ナ調整ハ、「ボス」58カラ放斜狀ニ突出シテルねぢ棒57ニ嵌合スル腕56ニ廻轉シ得ルヤウニ取付ケラレタ顎部54ニヨツテ行ハレル。コノ裝置ヲ錠止スルニハてこ46ヲ"排水"位置ニ置キ、管22ノ頂部ヲ容器8ノ底部ト同高ニスル。吐出蛇管30ノ「ノツズル」ハ排出管カラ突出シテル管94ノ端ニアリ、押シねぢ附ノ番イ蓋102ハ鍔100ノ上ニアル。管22及ビソレニ懸垂シテル棒23ヲ押下グレバ、支へ腕73ノタメ支へ腕79ニ立ツテル「ピン」78ガ押倒サレ、心棒82ニ取付イテキルてこ80ヲ解放スル。心棒82ハ「リンク」81ニヨツテ吐出瓣29ノ作動軸84ニ連結サレ且ツてこ105ヲ附屬シテキル。てこ105ハソノ鉤孔106ガ番イ蓋102ノ鉤孔107ニ一致スルマデ廻轉サレル。ソノトキ南京錠ヲカケテ裝置ノ使用ヲ不可能ニスル。心棒82ガ回轉スレバ杆81ハ上グラレ、瓣29ガ開放シテ容器8内ノ全部ノ液ヲ溜メニ排出スル。容器8ノ内部ハ電燈20ニヨリ窓19ヲ通ジテ照明サレ、液量ヲ尺度16デ知ルコトガ出來ル。管38ハ容器8ノ上部ト管27トノ間ニ空氣線ヲ形成スル。放出路ノ部分27, 29ハ喰違ツテヲリ、透明部115ニヨツテ區劃サレ、液流ヲ嵌メ管114内ノ開口ガラ觀察スルコトガ出來ル。吐出蛇管ガ管ニ取付イテキナイトキハ、番イ蓋ヲ管94ノ上ニ廻轉スルコトガ出來ル。

FIG.31.



英 352,162 (XVIII)
(May 16, 1930)

測定量配給裝置
Delivering measured quantities.

發明者
Mccall, T.
Glasgow.

種子ガ容器カラ上掛回轉供給輪ニ繰出サレル種子蒔キ機ニ於テ、供給輪ハ側面圓板或ハ絞リ板ノ1對及周圍ニ「ポケツト」或ハ凹ミヲ持ツ中間板或ハ中間圓板ヨリナル、數個ノ部分品ハ個々ニ製作サレ、且分離自在ニ支持サレル故ニ供給輪ハ色々ナ中間凹ミ板或ハ圓板ニテ取リ換ヘル事ニヨリ色々ナ種類ノ種子ニ對シテ調整可能デアル、此ノ中間圓板ハ相互ニ調節可能ナ薄イ切缺キ圓板デ成リ立ツ薄片ヲ重合セル型ニ作リ得、Fig. 2ニ示セル供給輪12ハ種子容器10ノ供給落口ニ至リ、且懸垂屈曲板ニ嵌合ス、供給輪12ノ下部ハ蓋ヒニヨリ包ミ得、此ノ蓋ヒハ前方ニ擴ガリ且種子ヲ受ケ又蒔ク樣ニ形成スル事ガ出來ル、供給輪12ハ直線緣17ニ沿ツテ走ル2個ノ車輪16, 18ノ中ノ1個ニヨリ驅動サレル、供給輪12ハ心軸13上ニ移動自在ニ支持サレ、且2個ノ側面板或ハ側面圓板19, 20及數個ノ中間切缺キ圓板24カラ成ル、圓板20, 24ハ「ナツト」22ニヨリ圓板19ノ「ボス」上ニ調整自在ニ支持サレル、圓板ノ調整ニヨリ切缺キ或ハ凹ミ26ハ連續的或ハ間歇的供給ヲ與ヘル樣ニ配置サレ得、Fig. 6ニ示セル配置ニ於テ、側面圓板28ハ植込「ボルト」37ニヨリ側面圓板27ニ連續シ、且中間圓板29ノ相互廻轉ハ「キー」36ニヨリ防ガレル、圓板27, 28ハ圓板29ヲ越ヘテ擴ガリ、且角ヲ取レル故ニ供給輪ハ周面溝ヲ有ス、先ノ尖ツタ供給落口31ハ其ノ周面溝中ニ突入シ得、色々ナ大キサ及色々ナ空隙ヲ持ツ數個ノ圓板ハ圓板29ト取リ換ヘル事ガ出來ル、容器32カラ落口31ヘノ種子ノ供給ハ滑リ子39ニヨリ調整出來ル、

FIG.2.

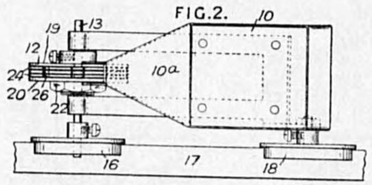
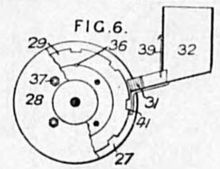


FIG.6.



屈曲案内片41ハ圓板29ト嵌合ス。

英 352,953 (XVIII)
(April 14, 1930)

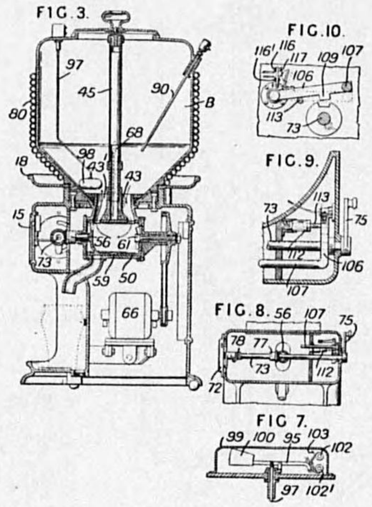
液體測定量配給裝置

Delivering measured quantities of liquids.

發明者
Fischman & Sons, I.,
U. S. A.

飲料水等ノ定量供給ニ用ヒラレルモノデアル。

定量サレタ液ハ容器Bヨリ、廻轉筒50ニ依ツテ流出サレル。液ハ連續廻轉スル羽根車ノ作用ニヨリ、通路43及43′ヲ通ツテ容器ト廻轉筒トノ間ニ循還スル。横ノ割室68ハ亦液體ノ循還ヲ助ケル。扉15ヲ開イテ、槓杆106ノ取手107ヲ上ゲルト、鍔109ヲ、貨幣投入ニ依リ作働狀態トナル機構72ノ軸73上ノ凹溝カラ、遊離シテ、彈力片117ニ依リ接觸片116及116′ヲ橋絡スル。斯クシテ電動機66ハ起動サレ、羽根車61ヲ作動スル。發條デ抑壓サレタ可動鐵片ヲ有スル「ソレノイド」112ガアツテ、此ノ鐵片ハ槓杆106ガ軸73ニ再ビ掛合スルコトヲ防グ。機構72ニ貨幣ヲ投入シタ後、取手75ヲ廻セバ、傘齒車77及56ヲ介シテ、廻轉筒50ガ流出供給スル位置ヲトル。孔59ハ通氣管45ヲ有スル通氣裝置ニ連絡スル。通氣裝置ハ羽根車61ト相俟テ流出液ヲ「クリーム」狀トスル。



取手75ヲ放スト、廻轉筒ハ發條78ノ働キニヨリ、流入位置ニ復歸スル。

槽内ノ液ガ無クナツタトキ、浮98ノ連杆97ハ槓杆95ヲ上ゲテ、函99内ノ窓ニ、「空」トイフ字ヲ表示スル。ソレト同時ニ接觸片102, 102′ト條片103トニヨリ電流回路ヲ閉ヂル、爲メニ「ソレノイド」112ハ勵磁サレ、可動鐵片113ハ引込マレテ、槓杆106ガ再ビ軸73ニ掛合スル。尙電流回路ノ開閉器116及117モ亦開カレテ、電動機

66ト羽根車61ハ止ル。

液槽ノマワリニ卷付ケラレタ蛇管80ニハ冷却水ガ循還サレル。ソノタメニ電動壓縮機ガ設ケラレテヰル。蛇管80ニ連續シテ、第2ノ蛇管ガ液槽B内ニ設ケラレル場合モアル。液ノ溫度ヲ一定ニ保ツタメニ、「サーモスタット」90ガ設ケラレテヰル。液槽ノ基部ノマワリニハ滴受ケ18ガアル。

分配用容器ハ此ノ裝置ノ側面ニ置カレルノデアル。

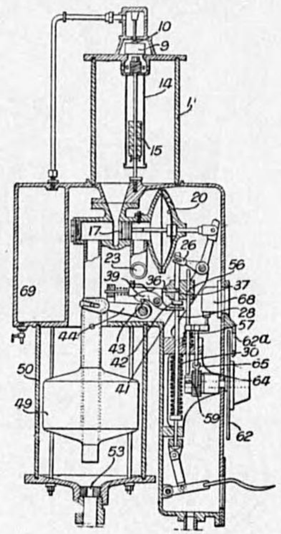
英 353,605 (XVIII)
(May 29, 1930)

液體測定量配給裝置
Delivering measured quantities of liquids.

發明者
Soc. D'Etude de Distributeurs Automatiques. (S. E. D. A.), France.

定量室1ノ液體流入及流出ハ滑リ弇ニヨリナサレル。滑リ弇ノ運動ハ排出室50内ノ浮49ニ基ク。排出室50ハ少クトモ定量室ト等容積デアリ、其出口ハ定量室ニ連ル入口ヨリ小サイ、爲メニ浮ハ定量室内ニ液ノアル間上昇スル。

指示計62ヲ廻スト、開口62aヲ通シテ、必要ダケノ數種ノ單位ガ現レル樣ニナツテヰル。ばね57ニ依リ「ベルクランク」槓杆26ノ運動ヲ妨ゲル樣ニ止メラレテヰル棒56ハ、「カム」59ニヨリユルメラレル。ソノトキ棒28ノマワリノ壓縮發條30ノ働キデ、弇17ハ左方ヘ動キ、管23カラ定量室1ヘ液ガ流入スル。棒28ガ下降スレバ、鍔42ハ二叉41ニ係合シテ、槓杆44ノ「ボス」ニ掛ツテヰル爪39ヲ外ス。ソノトキ浮49ハ排出室50ノ底ニ落下スル。



定量室ガ滿チテヰルトキ、浮9ガ弇10ヲ閉ヂル迄、室69内ニ空氣ガ壓縮サレル。ソノトキ增加シタ氣壓ハ膜板20ニ作用シテ、滑リ弇17ヲ流出位置ヘ動カス。「ピン」36ハ爪39及43ノ離脱ニ依リ、溝37ニ滑リ込ミ、棒28ヲ上昇位置ニ錠止メスル。

室69内ノ壓縮空氣ハ定量室1カラ排出室50ヘノ流出作用ヲ速カナラシメル。排出室カラノ流出ノ割合ハ筒口ニ口輪ヲ嵌メル事ニヨリ減ゼラル。

浮49ガ上昇スレバ、爪39及43ハ再ビ掛合スル。定量室1ガ完全ニ流出ヲ終ヘテ、浮ガ下降スルトキ、「ピン」36ガ引拔カレ、發條30ハ再ビ滑リ弇17ヲ動カシ、定量室ヘノ流入作用ガ再開始サレル。

棒28ノ下降運動ハ「ベルクランク」横杆26ヲシテ棒56ヲ抑下サセル。コレハ爪車64、爪65ヲ介シテ、指示板62ヲ零ノ方ヘ1段廻シ、且積算計68ニ作用スル。

定量室1内ノ管14ノ中ニ設ケタ塊15ハ、定量室ノ容積ヲ調整スルモノデアル。

英 357,705 (XVIII)
(July 30, 1930)

液體分配裝置
Dispensing liquids.

發明者
Sauser AGT.-GFS.
Switzerland.

液量計器ノウチデ、特ニ輕油分配「ポムプ」ガ備ハツテ居テ、相當數ノ使用者ニ依ツテ開カレル異ナル錠ニヨリ制御サレル閉鎖ノツイテ居ルモノ——ソンナ種類ノモノノウチデ、普通ノ計量容器ヲ滿シタリ空ニシタリスル事ハ、各々ノ容器ガ滿タサレタ時ニ起ル壓力ノ增加ニヨリ自働的ニ作働スル可逆「バルブ」ニ依リ制御サレル。

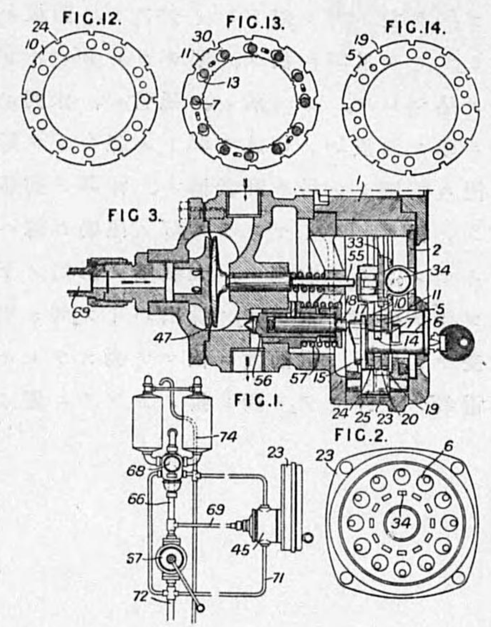


Fig.2 及 Fig.3 ニ示ス水門6トソレラノ計數器34モ亦壓力ノ增加ニ依リ作働サレルノデアツテ、コレラハ、夫々「ボス」1ノ上デ右廻リノ方向ニ手デ同時ニ廻ス事ノ出來ル環狀板2,33ノ上ニ乘ツテ居ル。ソシテコレラヲ廻スト、任意ノ必要ナ水門ヲ、制御裝置45ノ漏レ瓣56ヲ閉ジタリ又液ヲ放出サシタリスル爲、最下位又ハ作働位置ニ持チ來ス事ガ出來ル。容器ハ Fig.1 ニ於ケルガ如ク、測定可逆「バルブ」裝置68ニ連結サレテ居テ、「ポンプ」67ニ依リ、「パイプ」66ヲ通ジテ液ヲ供給サレルノデアル。「ポンプ」ノ吸入「パイプ」72ハ、「パイプ」71, 72, 74 及ビ發條57ニ依リ、通常ハ開カレテ居ル「バルブ」56ニ通ジテ居ル。圓板 5, 10, 11 ハ圓板 2 ニカタク取付ケラレテ居テ、圓板11ハドレデモ、最下位或ハ作働位置ニアル水門ノ幹7ニツイテ居ル突起14ニ依ツテ、圓板5, 10ニ關シテ制限

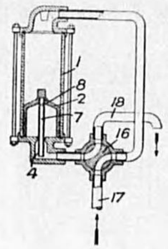
範圍迄ハ廻ス事ガ出來ルノデアル。ソシテ幹ト突起ハ、Fig. 13 ニ示ス圓板11ノ多數ノ溝孔13ノ1ツト共ニ働クノデアル。必要ナ水門ガソノ作働位置ニ調節サレルト、ソレハソレニ相當スル錠ニ依ツテ、Fig. 14 ノ切込ミ19及 Fig. 13 ノ切込ミ30ガ一直線ニ來ル迄廻サレル。ソシテ制御裝置ノ筐23ノ内部ニ「ピボツト」サレタ爪20ニ依ツテ掛ケラレル。ナホ更ニ錠ヲ廻スト、水門ノ端ニアル「カム」17ガ、發條デ荷重ヲカケラレタ受動部18ヲ押スヨウニナル。ソシテ「バルブ」56ヲ左ニ押シ閉ヂルノデアル。圓板ハコレ又筐ノ内部ニ「ピボツト」サレタ爪25ニ依リ、閉ヂラレタ「バルブ」ト共ニ、適當ノ位置ニ嵌メ込マレル。ソノ爪ハ、通常ハ、水門ノ幹ノ鍔15ニ依ツテ、Fig.12 ニ示ス圓板10ノ切込ミ24トハ係合シテ居ナイ。作働位置ニアル水門ニ對應シテ居ル計數器ハ、棒55ノ前後運動ニ依ツテ働ラカサレ、ソノ棒ニ、「ダイヤフラム」47ノ運動ガ傳ヘラレルノデアル。ソノ「ダイヤフラム」ノ右側ハ、大氣壓ノ影響ノ下ニアツテ、左側ハ、「パイプ」69ヲ通ジテ「ポンプ」ノ排出「パイプ」66ノ中ノ變化スル壓力ノ支配ヲ受ケテ居ル。電動機ニ依ツテ動カサレル「ポンプ」ヲ用ヒル場合ニハ、電氣「スウイツチ」ヲ漏レ瓣ノカワリニ置イテモ良イ。

英 361,401 (XVIII)
(Sept. 3, 1930)

液體測定量配給裝置
Delivering measured quantities of liquids

發者明
Fabrik Explosions-Sicherer Gefässe Salzkotten Ges. Germany.

垂直ニ設置サレタ透明圓筒1内デ作働スル「ピストン」2ノ上方及ビ下方ノ空所ガ、「バルブ」16ノ動キニ應ジテ交互ニ滿タサレタリ空ニサレタリスル。「バルブ」ニハ、夫々供給シタリ排出シタリスル接管17, 18ガ取付ケラレテヰル。「ピストン」ノ下方ニ空氣或ハ瓦斯ノタマル事ハ、管7ニ依ツテ妨ゲラレテヰテ、コノ管ハ、「ピストン」ニ定着サレ且ツソノ最上點ニ近ク開口8ヲ有シテヰル。管ハ水路4ノ下部ニ突出シテヰテ、コノ水路ハ、圓筒1ニ入ル所デ縮メラレテヰル。

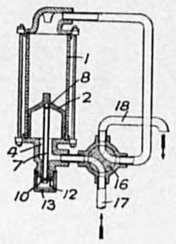


英 361,427 (XVIII)
(Aug. 14, 1930)

液體測定量配給裝置
Delivering measured quantities of liquids

發明者
Fabrik Explosions-Sicherer Gefässe Salzkotten Ges.
Germany.

垂直ニ設置サレタ透明圓筒1內デ作動スル「ピストン」2ノ上方及ビ下方ノ空所ガ、「バルブ」16ノ動キニ應ジテ交互ニ滿タサレタリ空ニサレタリスル。コノ「バルブ」ニハ、夫々供給シタリ排出シタリスル接管17, 18ガ取付ケラレテキル。「ピストン」ノ下方ニ空氣或ハ瓦斯ノタマル事ハ、管7ニ依ツテ妨ゲラレテキテ、コノ管ハ、「ピストン」內ニ取付ケラレテ居リ、且ツソノ最上點ニ近ク開口8ヲ有シテキル。ソシテコノ管ハ、取外シ自在ノ「キヤツプ」13ニ依ツテ形成サレタ凹所ニ突入シテキル。最初コノ裝置ヲ使用スル際ニ、環12ヲ持ツタ楔栓10ガ、空氣ガ「ピストン」ノ下部カラ追出サレテシマフ迄「ピストン」ノ上昇スル事ヲ妨ゲテキル。ソノ後楔ガ引拔カレテ、「キヤツプ」13ガネジ込マレル。ソシテ普通ノ作働ガ遂行サレルノデアル。

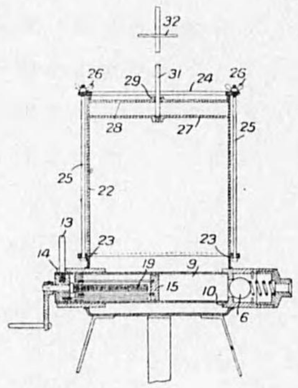


英 365,573 (XVIII)
(Jnly 15, 1930)

測定量ノ流體排出裝置
Delivering fluids in measured quantities.

發明者
Ahrens, J. E. H
Germany.

コレハ脂肪トカ或ハコレト同様ナ密度ヲ持ツタ物質ヲ、「ピストン」15ノアル往復動出來ル室9ニ依ツテ容器22カラ計量シテ取出ス裝置デアル。室9ハ、「ハンドル」13ヲ銃劍ニアル様ナ溝孔14カラ離ス事ニ依ツテ後退サセラレル。物質ハ更ニ「ピストン」15ヲ退却サセル事ニ依ツテ容器ノ中ヘ吸込マレ、コノ「ピストン」ハねぢ桿19ニハマツテヰル。ソシテ室9ヲ座10ニ對シテ再ビ原位置ニ返シテ、室ノ中ニ入レラレテヰル量ガ「ピストン」15ニ依ツテ逆止メ瓣6ヲ通シテ吐出サレル。容器22ハ臺部分ノ上緣23ニハマツテヰテ、枠24, 25及ビ蝶「ナット」26ニ依ツテ緊定サレテヰル。容器ニ入レラレテヰル物質ハ、棒31及ビ「ハンドル」32ノ取付ケラレテヰル圓板27ニ依ツテ押進メラレル。コノ圓板ハ、コレヲ使用スル必要ノ起ル迄ハ、孔29ニネジ込マレル植込「ボルト」ニ依ツテ端28ニ對シテ支持サレル。



英 372,413 (XVIII)
(Feb. 12, 1931)

液體ノ測定量放出裝置

Delivering measured. quantities of liquids.

發明者
Touderous, J., Samson, E., and Robillard. J., France.

此型ノ裝置ニテハ測定室4ノ中ニアル「ピストン」23ハ移動性ニシテ其衡程ノ終端ハ自由ニシテ手動「コック」3ハ堰止裝置トナル又堰止裝置18ハ「コック」ニヨリテ廻ハス時ニ使用サレル發條19, 20ニテ刻ミ目5bノ中ニ軸ノ方向ニ押シヤラレ裝置ノ固定枠ニ取付ケラレ許容ト空虛ノ位置ニ相當シテ「ピストン」ハ移動出來ル樣ニナツテ居ル、透明ナ測定室4ニハ把手9aニテ共ニ廻サレル「コック」3ガツイテ居ル、而シテ「コック」3ハ上部軸受5ト下部軸受2トノ間ニアツテ其ノ中ニ壓縮空氣ノ通路ノ入口及出口トガ形作ラレテル。角棒14ハ測定室ノ上部ノ孔ノ中ヲ滑リ且平衡發條、19,20ニ作用サレル切リ込5bト嚙合フ1對ノ齒ヲ有スル締付「カラー」ヲ持ツテ居ル。棒14ノ下端ニアル鍔21ハ喞子ガ最下部ニ達スレバ棒14ヲ下ゲル爲ニ喞子23ニツイテル拔差自在ノ管22ニ嵌合シテル而シテ締付18ヲ離脱ス。喞子ハ其衡程ノ上端ニ於テ切リ込5bトノ嚙合カラ締付18ヲ上ゲハナス爲ニ棒14ノ端ニ接スル。液ガ供給槽28aカラ管29aヨリ供給セラルル壓縮空氣ニヨリテ管28及通路27, 30ヲ通リテ測定室ニ充滿スル時ニ喞子ヲ上方ニ押シヤル。喞子ノ上部ニアル空氣ハ外管ト通路31ヲ通リテ弇ノ中ニ脱出ス。空虛ノ位置 (Fig. 4a) ニ於テハ通路30ハ放出口26ト連絡シ水路31ハ壓縮空氣管29ト連絡シテ喞子ハ壓縮空氣ニヨリテ下方ニ押シ下ゲラレル。發條33aハ時トシテ壓縮空氣ノ代リニ取リ付ケラレル事モアル。計算器ハ角棒14ニヨリテ自由車輪17ヲ經テ作動ス。放出量ヲ變更スル時ノ用ニ調整ねぢ棒24ヲ付ケ棒14ノ下端ニ突出

FIG.3.

FIG.4a.

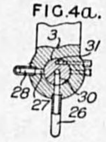
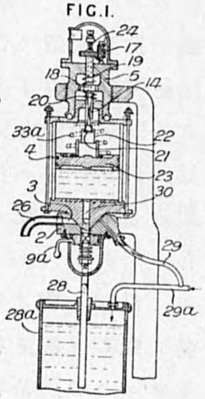


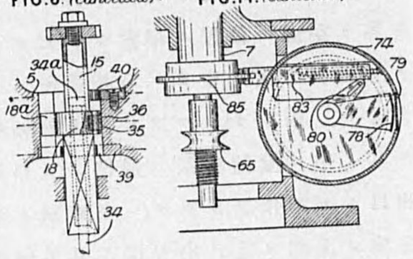
FIG.1.



セシメ喞子ノ上方ノ位置ヲ加減セシム。

Sect. 91 (3) (*a*) ニ監査スル爲ニ公表セラレシ明細書ニハ不正手段ヲ防止スル爲ニ喞子ノ下カラ空氣ヲ追出ス方法、登錄及指示裝置ヲ具備シテル。反對ニ向ケラレシ掣子 35, 36 [Fig. 6 (抹消)] ハ扇形齒輪 39, 40 ニ嚙ミ合フ樣ニツケラレテ「コツク」ノ逆戻リヲ防グ爲ニ拘止裝置ノ上下ノ位置ニ取付ケラレテル。拘止裝置ハ1個ノ齒ヲ有スル空洞ノ4角ナ棒15、其ノ中ニ喞子23ノアル桿34ガ嵌入シテ居リ又衡程ノ終リニ於テ拘止裝置ヲ作用スル樣ニ頭部 34[a] ヲ喞子ニ取リツケテアル。喞子23ノ中ニ浮弇ヲツケテ不還弇ヨリ空氣ヲ脫出セシム。射出口26ハ雫ヲ防グ爲ニ發條ニテ抑エタル弇ヲ使用ス、計算器ハ裝置ノ下部ニ備ヘラレテ發條デ抑エラレタ環 65 [Fig. 14 (抹消)] ニ係合セル挺子ニヨリテ射出衡程ノ終リニ喞子ニ作用スル樣ニシテアル、面78ハ測定室ヲ再充滿スル爲ニ「コツク」ガ廻轉セラルル迄計算器ノ窓79ヲ覆フ樣ニツケラレテアル、面ハ滑動片83ト挺子80ニ通リテ「コツク」ノ心棒7ノ上ニアル「カム」85ニヨリテ作働セラル。此附屬事項ハ採擇セラレシ明細書ニハ見出サレナイ。

FIG. 6. (Cancelled). FIG. 14. (Cancelled.)



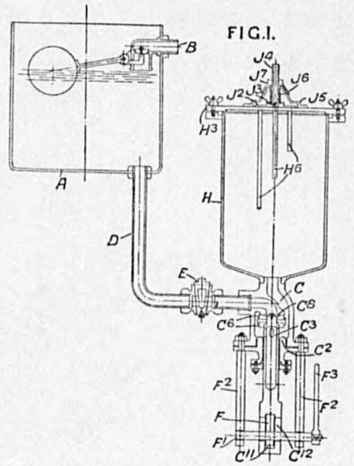
英 376,617 (XVIII)
(Nov. 25, 1931)

測定液量ノ配給裝置
Delivering measured quantities of liquids.

發明者
Deakin, E. S.,
Nottinghamshire

給水槽 A ノ水平面ハ常ニ球弇 B ニヨリテ支ヘラレテ槽中ノ液ハ管 D ヲ通リテ流出スル、二又ノ持上弇 C ハ「カム」F ニヨリ測定室 H ニ作用シ測定室 H ハ異ナル水平ニ相當スル空氣拔管 H^6 ノ若干數ヲ環狀ニ排置シテ廻轉シ得ル圓板弇 J^2 ニテ制御サレル故ニ其作用時ニ於テ1ツノミガ大氣中ニ開カレル。弇心棒 C^3 ハ空洞ニシテ下端ハ呑口ノ形狀ヲナシ2ツノ弇 C^6 ヲ受ケテ居ツテ上ト下ニ C^8, C^2 ヲ取付ケル樣ニツケラレテヰル。弇心棒ノ實體ノ繼續部ニハ溝 C^{11} アツテ其中ニハ固定柱 F^2 ノ間ニアル軸 F^1 ノ上ニアル「カム」F 作働ス而シテ棒ノ直立動作ヲナサシムル把手 F^3、溝 C^{12} ヲ備ヘテ居ル。弇心棒ノ上部ニ於ケル開キハ弇ガ上方ノ位置ニアル時ニ測定量ヲ流出セシム。空氣拔管 H^6 ハ測定室ノ蓋 H^3 ニ開イテ居ツテ圓板 J^2 デ掩ハレテ居ル此圓板ニハ波形 J^3 アツテ端カラ中央ノ管 J^4 迄擴ガツテル又 J^4 ハ槽 A 内ノ液面ヨリモヨリ高クナツテル而シテ蓋 J^5 ノ上ノ矢ヲ以テ見ル目盛ヲ持ツテル「ローレツト」切リノ車 J^7 ヲ備ヘテ居ル。發條 J^6 ハ圓板 J^2 ヲ蓋 H^3 ニ押シツケテ居リ止栓 E ハ管 D 中ニ具備シテ居ル。

FIG. 1.



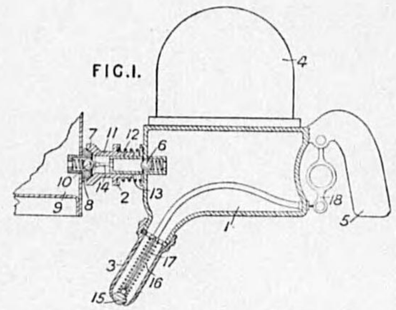
英 378,416 (XVIII)
(May 6, 1931)

液體測定量配給裝置

Delivering measured quantities of liquids.

發明者
Vacuum Oil Co, Ltd. and England, E. C. G. London.

コレハ減摩油或ハ其他コレニ類スル液體ノ測定量ヲ放出スル携帶型ノ裝置デアツテ、圖ニ示ス1ハ容器デコレハ逆止瓣6ヲ通シテ油ヲ入レラレ、又液體ハ空氣壓力或ハ發條「ピストン」ニ依ツテ排出瓣15ヲ通シテ排出サレル。上記排出瓣ハ握部分5ニ近接シテ設ケラレテヰル引金18ニ依ツテ開カレルノデアル。容器1ニハ瓣附入口2ガアツテ、コレハ加壓狀態ニ於テ液體ガ貯エラレテヰル貯藏「タンク」9ノ排出瓣10ヲ開ク事ガ出來ル樣ニナツテヰル。コレヲ開クニハ使用者ガ排出瓣10ニ對シ直接入口2ヲ挿込メバ良イ。入口2ハ發條ニ依リ押壓サレテヰル球逆止瓣6ヲ有シテ居リ、且ツ筒口ノ固定管狀部分12ノ上ヲ摺動スル樣ニ取付ケラレテヰル「スリーブ」11ニ形成サレテヰル鐘狀形開口部分7ヲ有シテヰル。



ソシテコノ入口2ハ貯藏「タンク」9ニ取付ケラレテヰル球形筒口8ニ對シ押壓サレル樣ニナツテヰル。「スリーブ」11ハ發條13ニ依ツテ外方ニ押壓サレテ居リ、ソシテ又固定管12ハ「ピン」14ヲ持ツテヰテ之ガ發條ニ依リ押壓サレテヰル球瓣10ヲソノ瓣座カラ押ハナシ、油ヲ測定容器ノ中ニ流込ム樣ニスル。ソシテ空氣ヲ目盛附鐘形「ガラス」部分4ノ中ニ壓縮スル。カクシテ容器ハ貯藏タンクカラ脫サレ、瓣6, 10ハ閉ヂル。ソシテ排出口3ガ機關或ハ他ノ使用場所ニアテガワレル。ソレ故排出瓣15ガ發條16ニ抗シテ引金18及ビ「ボーデン、ケーブル」17ニ依ツテ開ケラレルト、液體ハ勢ヨク排出サレル。「ハンドル」5ハ「ピストル」型ヲナシテヰルノデコノ裝置ハ片手デ使用スル事ガ出來ル。鐘形空氣室ノ代リニ發條「ピストン」ガ液體ヲ

放出スル動力源トシテ使用サレ、コレガ目盛附「ガラス」圓筒ノ中ヲ摺動スル樣ニサレテモ良イ。入口瓣ハ又「ボーデン・ケーブル」ニ依ッテ引金ニ連結サレルト排出瓣ノ役目ヲスル事モ出來ル。

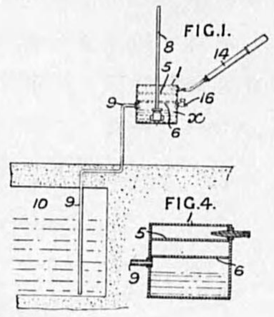
液面指示裝置

英 341,005 (XVIII)
(Oct. 7, 1929)

液面計
Liquid level indicators

發明者
W. L. Hart and Ferolite Ltd.
London.

液體ノ頭壓力ニヨツテ作働サレル指示計—空氣式深度計ニ於テ、空氣ハ「ポンプ」14ニヨリ貯槽10內ニ浸漬サレタ管9ニ送給サレ、液體頭ニ基因スル空氣壓ハ中間容器1內ノ指示用液體x中ニ浸漬サレタ驗液管(gauge glass) 8ニ於テ指示サレル。水平隔膜5, 6ハ各小孔ヲ備ヘ、此裝置ハ此小孔ニヨツテ指示用液體ニ作用スル過大空氣壓ヲ防止スルタメノ隔障トシテ作用スル。弇16ハ貯槽ニ充注スル間、容器1ヲ大氣壓ニ等シク保持スルタメノモノデアル。



英 341,056 (XVIII)
(Sept. 2, 1929)

液面計
Liquid level indicators.

發明者
W. Barties.
Berlin.

送電器ノ wheatstone 電橋ノ支線上ニ於ケル運動ガ、第2ノ支線上ニ移動シ得ル組子ヲ作働サセルタメノ電流ヲ發生シ、其結果電橋ノ平衡ガ回復サレルヤウナ距離ニ於ケル運動ヲ電氣的ニ指示スル裝置ニ於テ、送電器ト組子トハ、第3ノ支線中ニ廻轉線輪ヲ有シ而シテ此線輪ガ機械的ニ組子ト共同出來ルヤウナ器械ニヨツテ、相互ニ共同スル。此發明ヲ貯槽内ノ液面指示ニ應用スルタメニ、貯槽ノ傾斜ニ基因スル誤差ヲ消去スルタメノ裝置ガ附ケ加ヘラレル。Fig. 8 ニ示サレタ構造ニ於テ、

FIG. 8.

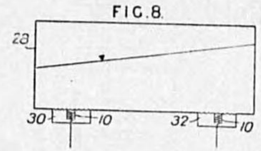
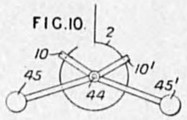


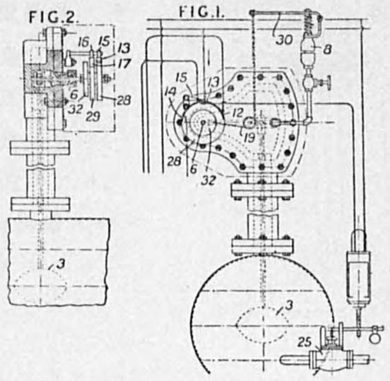
FIG. 10.



貯槽28ニハ管10ニ連結シタ壓力帽30, 32 ヲ設ケラレ、此管ハ壓力帽ガ降伏スルトキ此 cap ガ壓下サレル程度ニ從ツテ、數多ノ抵抗線輪ヲ橋絡スル用ヲナスモノデアル。抵抗2ハ同一ノ回路ニアリ、其結果全抵抗ハ貯槽ガ傾斜サレル程度トハ無關係デアル。2個以上ノ壓力帽ヲ使用スルコトモ出來ル。或ル變形體ニ於テハ、2個ノ壓力帽ハ液體ヲ滿タサレ、抵抗ト共ニ働ク第3ノ壓力帽ニ續ク管ニヨツテ連結サレ、又貯槽内ノ壓力或ハ眞空ヲ補償スルタメニ、貯槽壁ノ薄膜ニ杆ニヨツテ連結サレル。Fig. 10 ニ示サレタ構造ニ於テ、浮子 45, 45¹ ハ軸44ニ樞軸附ケニサレタ臂 10, 10¹ ニ夫々連結サレ、此等ノ臂ハ抵抗2ト共同作用ヲナス。臂ニヨツテ橋絡サレタ抵抗ハ貯槽ノ傾斜トハ無關係デ、貯槽中ノ液面ノ變化ノミニ從ツテ變化スル。

	蒸汽罐液體水準面指示器及ビ調整器	發明者
英 342,618 (XVIII) (May 6, 1930)	Steam boiler liquid level indicators and regulators.	Soc. Anon. D'ougree Marihaye Belgium.

罐内デ浮子3ニ依ツテ廻轉サレル軸6ハ、可視及ビ可聽高及ビ低水準面警報器及ビ給水弁25ノ操作ヲ管制スル3個ノ圓盤若クハ板28, 29, 32ヲ把持シテヰル。



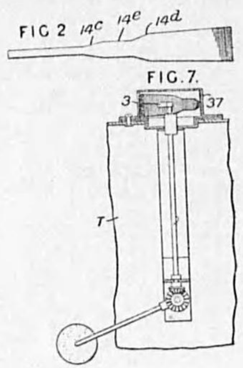
圓盤25ノ上ニ承ケラレテヰル固定腕15ハ高、標準及ビ低水準面デ片12, 13, 14ト接觸シ、異ツタ色ニ色付ケシタ「ラムプ」ヲ介シテ電氣回路ヲ完成スル、圓盤16ノ上ニ承ケラレテヰル腕16ハ低水準面デ片17ト接觸シ、「ソレノイド」孔ヲ介シテ電氣回路ヲ完成スル、警笛8ヲ操作スルタメノ挺子30ヘ取付ケテアル鎖19ハ、圓盤32ノ緣ヘ、水準面ノ昇降ニ依リ所要ノ上下限界ヲ越スト警笛ガ鳴ルヤウニ圓盤ノ廻轉方向ノ如何ヲ問ハズ引張ラレルヤウニ取付ケテアル。

英 345,286 (XVIII)
(Nov. 16, 1929)

液　面　計
Liquid level indicators.

發明者
Heide, H. C.,
London.

コノ液面指示裝置ハ交叉線輪可動磁針型計器ヨリナリ、計器ノモツ線輪ノ1箇ハ電源ヲ横切ツテ連結サレ他ノ線輪ハ浮カラ作動サレル可變抵抗ニ連結シテヰル、抵抗ノ取附イテル臺ノ一端ハ他端ヨリモ大ナル横斷面ヲ有シ且ツ中間ニハ 14^c, 14^d, 14^e ナル階段的傾斜部分ヲ有ス、抵抗ハ水槽 T 上ニ載ツテル箱37内ニアリ、摺動刷子3ハ接地サレテヰル、抵抗器ノ何レノ端ガ全抵抗ノ位置ニ相當シテモヨイ、(明細書341, 508參照。)



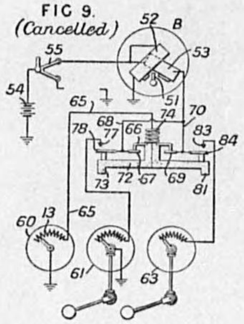
英 345,292 (XVIII)
(Dec. 11, 1929)

液面計
Liquid level indicators.

發明者
Schlaich, H.,
Germany.

Sect. 91 (3) (a) デ審査ヲ請求シタ明細書ニヨレバ一指示器ヲ任意ニ内燃機ノ冷却系ニ於ケル熱的狀態、クランク室内ノ油面ノ變化及ビ燃料槽内ノ油面ノ變化ノソレゾレニ應ズル作動器ニ連結スルコトガ出來ル。Fig. 9(抹消)ニ於テ、指示器Bハ導線 68, 70 ニヨツテ接觸 67, 69, 78, 84 ニ連結サレル。冷却系ニ於ケル熱的狀態ニ應ズル作動器60ハ導線65ニヨリ蛇ノ目接觸66ニ連結サレル、接觸66ハ絶縁部分72ニ載ツテヲリ、ばね74デ接觸67, 69ニ垂直ニ押附ケラレテヰル。燃料面指示器61及ビ油面指示器63ハソレゾレ絶縁部分72ニ取附イテル接觸 78, 84 ノ上面ニアル接觸 77, 83 ニ連結サレル。押ボタン73ヲ押セバ接觸 66, 67 ヲ開キ接觸 77, 78 ヲ閉ヂル。同様ニ「ボタン」81ヲ押セバ接觸 66, 67 ヲ開イテ接觸 83, 84 ヲ閉ヂル。

FIG 9.
(Cancelled)



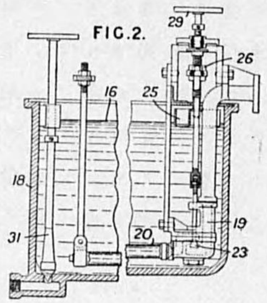
英 345,409 (XVIII)
(Jan. 29, 1930)

液面調整裝置
Liquid level regulators.

發明者
Harris, H.,
London.

長管、棒或ハ板ヲ鑄造スルタメ多クノ裝置ガ槽18內ニ配置セラレ、鎔融金屬ハ瓣23デ加減サレル管19カラ槽ニ供給サレル。瓣23ハ手動加減裝置26, 29ヲ經テ浮25ニ連結スル。金屬ハ傾斜ヲ加減スルコトノ出來ル有孔管20カラ入ル。手動排水「コック」31ガ所屬シテヰル。明細書 [Class 83 (i,) Casting &c. metals] 參照。

FIG.2.



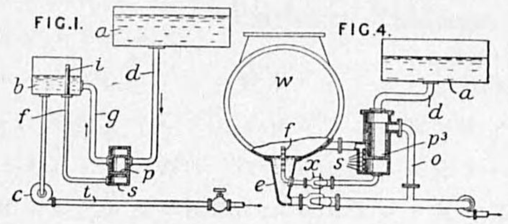
英 345,999 (XVIII)
(Jan. 1, 1930)

液面加減裝置
Regulating levels.

發明者
Gunn, J.,
Middlesex.
England.

罐ノ給水裝置ノ如キ、液體ノ「ポンプ」汲出裝置ニ對スル液ノ供給又ハ排出ハ、給水「ポンプ」ガ汲出ス水槽ノ液面ニヨル水壓デ作動スル瓣ニヨツテ加減サレル。Fig. 1 ニ於テ吸水「ポンプ」c ガ汲出ス給水「タンク」b ヘ、豫備「タンク」a カラ供給スル液流ハ、給水「タンク」內ニ突出シテル管 f 內ノ水壓デ下面ヲ押サレル「ピストン」瓣 p ニヨツテ加減サレル。瓣函ノ底部ニアル漏孔 s ハ、給水「タンク」カラ管 f ニ液ノ入ル開口 i ヨリモ小デアルカラ、「タンク」內ノ液ガ管 f ニ流入スル程ノ高サニ達スレバ瓣 p ハ押上ゲラレテ、液ガ管 d, g, ヲ經テ給水「タンク」ニ流入スルコトヲ止メル。給水「タンク」內ノ水壓ニヨリ「ピストン」瓣ヲ上ゲ、給水管 t カラ豫備「タンク」ニ流入シ又ハ豫備「タンク」カラ給水「タンク」ニ復歸スルコトヲ加減スルコトモ出來ル。「ピストン」瓣ハ給水「タンク」ノ異ナル水位ニ於テ開口シテル管カラ液ヲ供給サレル 2 箇ノ小型「ポンプ」ノ水壓ニヨリ、反對方向ニ作動スルコトガ出來ル。密閉罐ノ給水裝置ニ於テハ管 o, d ヲ經テ豫備タンク a ニ入ル過剩給水ノ流レ及ビ豫備タンクカラ復水器 W ヘノ復歸ヲ加減スル「ピストン」p^3 ハ、井 e カラ多數ノ入口ヲモツ管 f ヲ經テ吸水スル小型「ポンプ」x デ成生サレタ壓力ニヨツテ作動サレル、「ピストン」瓣ノ函內ニアル漏孔 s ハ、瓣ガ井內ノ水面ノ上昇又ハ下降ニ應ジタ位置ヲ取ルヤウニ作ラレテヰル。

FIG. 1.



英 346,201 (XVIII)
(May 13, 1930)

ゲージ硝子
Gauge glasses.

發明者
Naamlooze Vennootschap
Irma Industrie en Ruwmaterialen
Maatschappij,
Holland.

平面硝子板ヲ彈性體デ覘キ孔ヲモツ枠ニ押附ケテル種類ノ「ゲージ」硝子ニ於テ、押ねぢガねぢヲ通ツテ液體ノ漏洩スルコトヲ防止スルタメ彈性「リング」ヲ具ヘテヰル。Fig. 2ニ於テ函 a ノ前面ハ金屬板 d デ閉ヂラレ、板 d ハ覘キ孔 c ヲ有シ、且ツ「ボルト」e デ固定サレル。硝子板 f ハ液體ヲ入レルタメノ間隙 h ヲ有シ部分 g ニヨツテ金屬板 d ニ押附ケラレ、壓力ハ彈性詰輪 l 及ビ「リング」k ヲ介シテねぢ i デ與ヘラレル、Fig. 3 ニ示ス變形デハ「リング」l ハねぢ附嵌メ管 o デ締メラレ、頭部 g ヲモツ「ピン」p ガ「リング」及ビ嵌メ管ヲ貫通シテヰル。止メ「リング」s ハ割「ピン」デ「ピン」p 上ニ固定サレル。コレ等ニヨツテ確實ニ「ピン」p 及ビ詰論 l ガ嵌メ管 o ト共ニ引拔カレ且ツ詰輪 l ノ壓縮量ヲ指示スル。

FIG.2. d

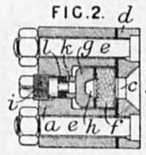
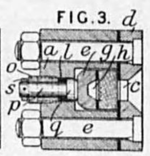


FIG.3. d

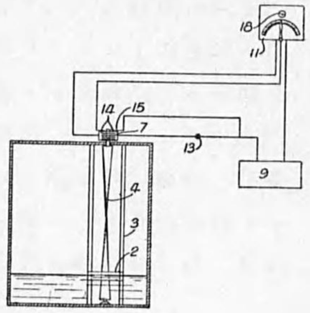


英 346,427 (XVIII)
(Jan. 6, 1930)

液面指示計
Liquid level indicators.

發明者
Konieczny and Kappis,
Berlin.

コノ液面指示裝置ノ浮2ハ案内3ノ上ヲ滑リ且ツ回轉平板蓄電器7ガ取附イテル軸上ノ渦卷條片4ヲ回轉スル。蓄電器ハ電池9、檢流計11及ビ開閉器13ト連結シテ回路ヲツクリ、ソレニヨツテ開閉器ガ閉ヂタトキ檢流計ノ指針ガ瞬間的ニ蓄電器ノ容量、從ツテ液面ニ相當スル量ダケ變位スル、接觸14, 15ヲ蓄電器ニ具ヘテ液面ガ豫定ノ最低位置ニ達シタトキ電燈18ガ光ルヤウニシテモヨイ。コノ指示裝置ヲ自動車ノ燃料「タンク」又ハ据付「タンク」ニ使用スルコトガ出來ル。

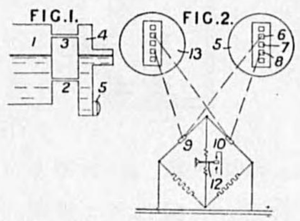


英 348,940 (XVIII)
(June 30, 1930)

液面指示及調節；蒸氣罐ノ給水調節器
Liquid level indicating and regulating; feedwater regulators for steam boilers.

發明者
I. G. Farben-Industrie Akt.-Ges.
Germany.

液面ニ從ツテ振動數ノ變化スル容器或ハ補助容器ノ振動ヲ利用スル事ニヨリ容器ノ液面ガ指示サレ、記錄サレ、且調節サレル、Fig. 1 ニ於テ「ボイラー」1 ガ補助容器 4 ヘ管 2, 3 ニヨリ彈性的ニ接續サレル、衝擊或ハ普通氣罐室ニ起ル振動ニヨリ發生スル容器 4 ノ振動ハ振動計 5 ニヨリ指示サレ、之ハ液面ノ度合トシテ役立ツ、「ボイラー」1 ヲ彈性的ニ支持シ、容器 4 ヲ取リ除キ得、衝擊ノ手或ハ機械ニヨル打擊、或ハ例ヘバ共鳴電氣回路ニヨリ自然振動ト一致スル樣ニ調節出來ル振動勵磁機ニテ容器ノ振動ハ起シ得、振動勵磁機ハ數種ノ振動數ヲ持チ得、振動ノ際ニ强制振動ノ振幅ハ液面ニ從ツテ變化スル、振動計 5 ノ指示ハ光線或ハ電話ノ原理ニヨル電氣的手段ニヨリ遠方ニ傳達サレル。



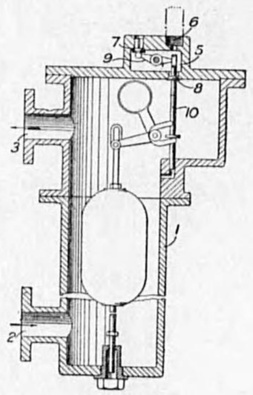
他ノ變型ニ於テハ Fig. 2 ノ液面ハ振動計ノ舌片 7 ニヨリ指示サレタル液面ニ保ツ樣ニ成ツテ居ル、之ニアリテハ「セレニウムセル」9, 10 ハ振動計 5 ヨリ來ル光線ヘ曝サレル、少クトモ近所ノ 2 個ノ舌片ハ同時ニ振動スル、液面ノ變化ニ從ツテ最大振幅ハ舌片 6 或ハ舌片 8 ニ遷ル、舌片 6 ガ大キナ振幅ヲ持ツカ或ハ舌片 8 ガ大キナ振幅ヲ持ツカニ從ツテ光ハ「セル」9 或ハ 10 ニ向ケラレル、「ホイトストンブリヂ」ノ平衡ニ於ケル各々ノ變化ハ「リレー」12 ヲ作動スル、此ノ「リレー」12 ハ給水「ポンプ」ヲ作動シ得、「ポンプ」ノ回轉數ノ變化ハ振動計 13 ニ作用シ、振動計 13 ハ「ホイトストンブリヂ」ノ平衡ヲ回復スル樣ニ「セル」9, 10 ニ作用スル、容器ノ振動カラ電氣振動ヲ起ス他ノ方法ニアリテハ容器ノ振動ハ回路中ノ電氣容量或ハ「インダクタンス」ニ影響ヲ及シ、熱電子管ガ遠方ニ於ケル指示器記錄器或ハ調節器ヲ作動スルニ使用サレ得。

英 350,771 (XVIII)
(July 15, 1930)

液面調節裝置
Regulating liquid level.

發明者
Holden & Brooke, Ltd. and
Joscelyne, A. W. A.
Manchester.

需要ノ變化ヲ處理スル爲メニ自動「ブースターポンプ」ガ使用サレル水力系統ノ電動設備ノ制御ニ對シテ密閉セル容器内ノ變化スル液面ガ利用サレル系統ニ於テ、容器1ガ通路2,3,ニヨリ液溜メノ液及壓縮空氣ヲ有スル空所ニ夫々連結サレル、區分5ハ空氣壓縮機ト連結セル電動機ノ始動ニ對スル「リレー」ト6ニ於テ常ニ接續シ、且「ロッカー」9ニヨリ互ニ連結セル弇7,8ヲ備フ、弇7,8ハ容器1内ノ浮子ニ連結セル棒10ニヨリ同時ニ作動スル、圖示セル位置ニ於テ「リレー」ハ弇7ヲ通シテ大氣ニ接續スルガ若シ液面ガ上昇シ、弇8ガ開キ、且弇7ガ閉ヂルナレバ、「リレー」ガ作動シ且空氣壓縮機ガ始動シ且運轉シ、遂ニ液面ガ要求セル點迄下ル、作動ハ系統内ノ壓力ニ關係ナク、總テノ可動部分ハ容器1内ニアル。



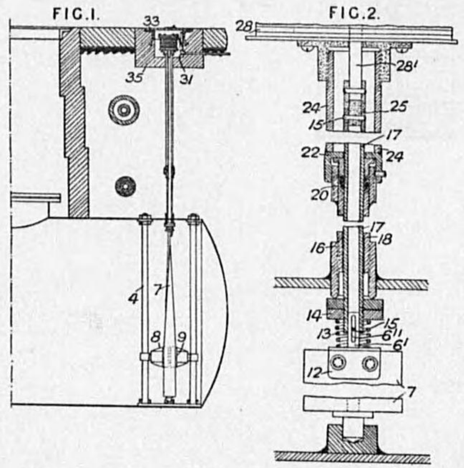
英 350,791 (XVIII)
(July 25, 1930)

液面指示裝置

Lndicatig liquid levels.

發明者
Konieczny, J.
Berlin.

液面ハ浮子ニテ指示サレル、此ノ浮子ノ移動ハ指示器ヲ含ム電氣回路内ノ電氣可變「コンデンサー」ノ主軸ヲ廻轉スル、浮子8ハ棒4ニヨリ垂直ニ案内サレ、且溝孔9ヲ通ル螺條7ヲ廻轉スル、螺條7ノ上端ハ目板12 Fig. 2 ヲ支持スル、此ノ目板12ハ管17ノ端ニ於ケル横斷「ピン」15ヲ受ケル爲メニ溝孔6''ヲ持ツタ延長部6'ヲ有ス、管17ハ圓板14ニ於ケル發條13ノ作用ニヨリ上方ニ押シ付ケラレル、「ガス」ノ損失ニ對シテ「タンク」ヲ密閉スル爲メニ圓板14ハ組子16ノ支ヘ刄ニ寄リカカル、管17ハ管18内ニ案内サレ、管18ハ上端ニ於テ詰箱20ニヨリ密閉サレル、帽子22ハ管24ヲ支持シ、管24ハ管17ノ上端及絶縁25ヲ包ム、管17ノ回轉ハ心軸28ヲ通シテ上ノ「コンデンサー」28ニ傳達サレル、「コンデンサー」28ハ容器35内ニ据ヘ付ケラレ、此ノ容器35ヲ通シテ傳導體31ガ檢流計ニ至ル、極大及極小接觸部33ガ「コンデンサー」ニ備ヘ付ケラレ、「タンク」ガ充滿セルカ或ハ空虛ナルカヲ指示スルタメニ電燈或ハ音響的手段ヲ備ヘ付ケル事ガ出來ル。



液面指示計

英 352,636 (XVIII)
(May 16, 1930)

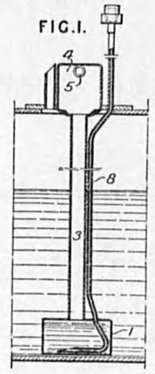
Liquid level indicators.

發明者
Etablissements E. Jaeger,
France.

空氣利用ノ液面指示計ノ1種デ、油槽ノ油面指示器トシテ好適デアル。

鐘狀體1ハ管3ト接管5トニ依リ氣壓計ニ連リ、氣壓計ハ液槽内ノ液面ニ基ク管内ノ氣壓ヲ指示スル。鐘狀體1ハ細管8ヲ通シテ空氣ヲ供給サレ、充滿サレテヰル。管3ニハ膨大部4ガ設ケラレ、液ガ管3内ヲ上昇シタ場合ニ之ヲ受ケ入レ、又之ヲ液槽ヘ返流スルニ供セラル。

FIG. I.



英 353,036 (XVIII)
(March 10, 1930)

液面指示裝置
Indicating liquid levels.

發明者
Cheney, M. E.,
U. S. A.

發動機ヲ設備シタ車輛ノ燃料油又ハ滑油等ノ油面ヲ指示スルモノデアル。

「クロスコイル」型ノ指示計 A ガ電池 B ニ連リ、且撰擇的ニ開閉スル開閉器ニヨリ滑油槽及燃料油槽 O, G ニ連結サレテヰル。各油槽ノ浮 4 ハ可變抵抗器 2 上ノ腕杆ヲ動カス作用ヲナシ、ソノ爲メ指示計 A ハ相當スル液面ノ高低ヲ示ス樣ニナル。上記ノ 2 個ノ可變抵抗器ニ於テハ、指示計 A ガ兩油槽ニ對シ、正確ニ同ジ尺度ニナル樣ナ抵抗ヲ使用スル。手働ノ開閉器10ハ普通燃料油ノ油面ヲ指示スル樣ナ位置ヲトツテヰル。

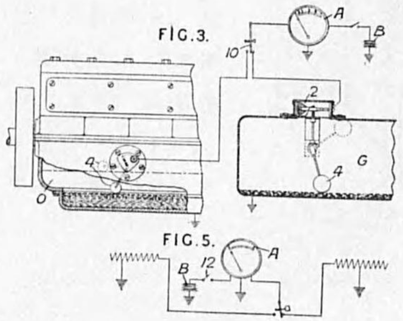


Fig.5 ハ發火開閉器12ガ指示計 A ノ電流廻路ニ連結サレタ狀態ヲ示シタモノデアル。(特許第 345,292 號明細書參照)發火開閉器ガ閉ヂタトキ、燃料油回路ハ閉ヂ、滑油回路ハ發火開閉器ガ開イタトキ或ハ閉ヂタトキノ何レカノ場合、選擇シテ閉ヂルコトガ出來ル。

英 353,215 (XVIII)
(July 1, 1930)

ゲージ硝子
Gauge glasses.

發明者
McGruer, A. E.,
Canada.

硝子管ノ照明裝置ヲ有スルモノデアル。

照明器ハ中ニ電燈13ノアル筒10ト硝子管Aニ對シ擴ガツテヰル幌12トヨリ成ツテヰル。筒10ニハ通氣孔19及19'ガアル。筒ノ外面ニハ1對ノ腕26ガアリ。之等ハ各蝶番28デ取付ケラレタ板27ト、該板27ニ溝孔ヲ通シテ「ネヂ」33ニヨリ締付ケラレタ滑リ片29トヨリ成ル。片29ハ「ボス」30ヲ具ヘ、硝子管ノ破損防止用ノ棒Dノ1本ガ之ニ嵌マツテヰル。

尙25ハ硝子覆ヒデ、之ハ「プリズム」ノ樣ニシテアル場合モアル。

FIG.2.

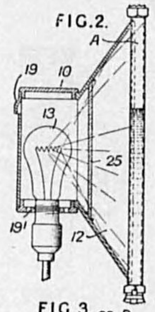
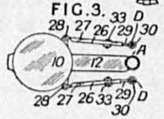


FIG.3.



英 354,802 (XVIII)
(March 14. 1930)

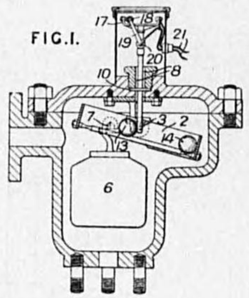
液面指示及調整裝置

Indicating and regulating liquid levels.

發明者
Bernon, L. M.,
England.

浮キ6ハ走リ路枠2ニ「ピボット」7デ取付ケラレ、走リ路枠ハ「ピボット」3デ支ヘラレ、2ツノ緩ク支ヘラレタ球ヲ持ツテヰル。縦ノ棒8ハ鍔10ニヨリソノ中心デ固着シ、ソノ下端ハ走リ路枠2ニ迄デ突出テヰル。

FIG.I.



走リ路枠ハ豫メ定メラレタ液面ノ爲メニ傾キ、1ツノ球ガ棒8ノ端ヲ打ツ。ソノタメ起ル振動ガ棒ノ他端ノ盆17ニ傳ハリ、「ピボット」20デ取付ケラレタ腕19上ノ球又ハ轉子18ハ反撥スル。ソコデ球又ハ轉子ハ導線21ニ連レル1對ノ電氣接觸片ヲ橋絡スル。

盆17ハ密閉セル蒸氣室ノ形ニシテモ良イ。蒸氣室ハ普通球ニヨリ閉ザサレル蒸氣入口ヲ有シ、出口ハ蒸氣「サイレン」ヘ導カレル。

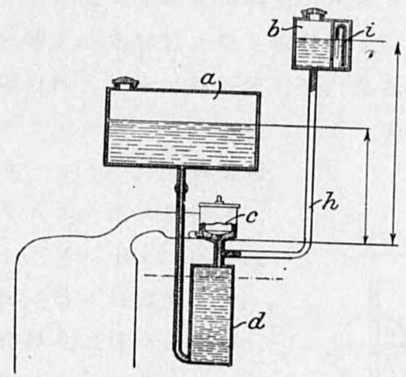
電流回路又ハ弇ハ目又ハ耳ニ依ル報知機又ハ給水調節器ヘ導カレ之等ヲ働カスノデアル。

英 356,994 (XVIII)
(Nov. 7, 1930)

液面指示裝置
Indicating liquid levels.

發明者
Fusion-Moteurs.
France.

溫度計 i ガ「タンク」b ノ中ニ置カレテ居ルノデ、溫度計ノ液柱ノ端ハ、大氣ノ溫度中デ機關ノ始動ヲ容易ニスルタメ注入サルベキ輕燃料油ノ水準ヲ示スノデアル。



英 358,109 (XVIII)
(July 4, 1930)

液面指示及調整裝置

Indicating and reguluting liquid level

發明者
I. G. Farbenindustrie AKT.-GES.
Germany.

コレハ容器ノ中ノ液面ヲ指示シ、記錄シ、或ハ又調節スル裝置デアツテ、ソノ方法トシテ、容器ノ固有振動數ヲ利用シタリ或ハ主容器ノ中ニ置カレタ附加物——コノ場合ニハ振動補助容器ヲ用ヒルノデアルガ1ツノ固有振動數ヲ利用スルノデアル。補助容器ハ、彈性ノ管或ハ棒デ、主容器ノ壁ニ取付ケラレレバ良イ。ソシテソノ振動ハ、彈力性ノ管或ハ棒ニ依ツテ、共鳴同調舌片ニ傳ヘラレルト、ソレガ「セレニユーム・セル」ニアタル光ノ衝擊ヲ制御シ、更ニ「セレニーユム・セル」ハ、瓦斯放射管或ハ「ネオン・ラムプ」ノ光ヲ制御スルノデアル。「リレー」ガ又指示シ、記錄シ、或ハ調節スル目的ノ爲ニ制御サレル。

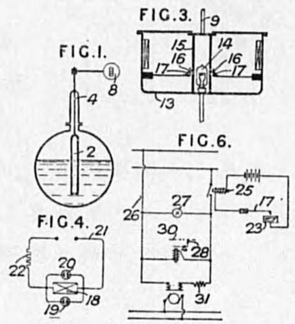


Fig.1ニ於テハ、容器2ノ種々ノ振動ハ、彈力性ノ棒4ニ依ツテ、振動計8ニ傳ヘラレル。Fig.3ハ指示裝置ヲ示シテ居ル。振動連結素材9ハ、圓筒形ノ「スクリーン」15ヲ持ツテ居テ、ソノ中ニハ「ラムプ」14ガアリ、ソシテ筐13ニ取付ケラレタ放射線狀ノ舌片17ニ依リ閉ヂラレタ數多ノ間隙ガアル。舌片17ノドレカガ振動スルト、ソレニ對應シタ間隙16ガ開カレテ、光ガ、Fig.4ニ示セル「ネオン・ラムプ」19ノ電氣回路21ノ中ニアル「セレニユーム・セル」18ノドレカ1ツノ上ニ落チル。コノ「ネオン・ラムプ」ハ、「セル」18ヲ横切ツテ短絡サレテ居ルノデアル。22ハ高抵抗デアツテ、コレガホボ定常電流ヲ維持シテ居リ、ソシテ「セレニユーム・セル」ニ働ク電壓ガ、「ラムプ」ノ消滅電壓以下ニ降下スルト、「ラムプ」ハ消サレ、アル時間タツト又光ガツクノデアル。ソノ時間ハ、ヨリ低イ消滅電壓ヲ有シヨリ高イ内部抵抗ヲ有スル今1ツノ發光「ラムプ」20ヲ加ヘル事ニヨ

リ、長クスル事ガ出來ル。「ランプ」19ガ消エルト、「ラムプ」20ハ、電位差ハソレ程高マラナクテ電流ヲ取ルノデアル。交流型ニ於テハ、Fig.6ニ示ス如ク、同調舌片17ハ振動スル時水銀容器23ニツカルヤウニ置カレテ居ル。電氣回路ガ完全ニツナガルト、「リレー」25ガ働ク。スルト回路26ガ完成サレテ、發光「ラムプ」27ガツケラレル。或ハ鉛筆ガ、動イテ居ル長イ紙30ニ接觸サセラレル。液面ヲ調節スルニハ、電氣回路26ガ各々供給「ポムプ」ヲ動カシテ居ル電動機ノ捲線ト直列ニ異ナル抵抗31ヲ持ツテ居レバ良イ。

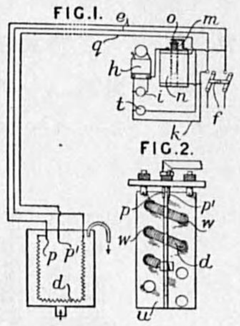
液面指示計

英 358,681 (XVIII)
(Sept. 13, 1930)

Liquid-level indicators.

發明者
Nicholson, S. B.
India.

電氣的水加熱器ノ安全裝置ハ、加熱要素 d ニ對スル主電氣回路 e ヲ包含シテ居ル。ソシテコレト並列ニツナガツテ居ル第2ノ回路 k ニハ、電鈴 h ト警報「ラムプ」i ト「ソレノイド」n トガツナガツテ居ル、コノ「ソレノイド」ノ「コア」o ハ、發條 m デ押出サレテ居テ、水ガ2本ノ炭素棒 p, p' ノ下ニ落チルト、回路 k ヲ閉ヂルノデアル。ソシテコノヤウニシテ、「ソレノイド」ノ回路 q ヲ切ルノデアル。「ラムプ」t ハ、主「スウイツチ」f ガハイツテ居ル時ソレヲ指示スル爲、コレラノ回路ヲ短絡シテ取付テアル。警報裝置ト作働手段ハ、



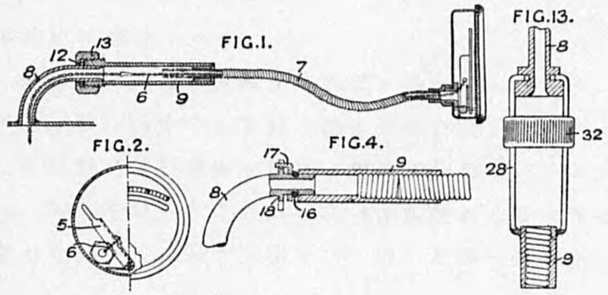
前面透明ノ普通ノ箱ノ中ニ入レラレテ居ル。加熱要素ハ、多クノ石綿板ニヨリ成リ立ツテ居テ、ソノ形ハ、孔 w ガアツテソレヲ通シテ線 d ガ螺旋狀ニノビテ居ル十字形ノ斷面ヲ持ツテ居ルモノガ良イ。

英 359,003 (XVIII)
(July 8, 1930)

液面指示裝置
Indicating liquid levels.

發明者
Accessoire De Précision,
France.

コノ液面指示裝置デハ、浮ノ各種ノ動キハ、Bowden 型ノ「ケーシング」7ニ入ツテ居ル撓性要素6ニ依ツテ傳達サレル。コノ「ケーシング」ノ長サハ、「ケーシング」ニ「ネヂ」デハマツテ居ル管形ノ要素9ニ依ツテ調節サレテ、ソノ調節サレタ位置デ、固定部分8ニアル鍔12ニ對シ、「ナット」13デ止メラレル。要素6ノ端ハ、直接ニ Fig. 2 ニ示ス指針5ニ取付ケラレテ居ル。Fig. 4 ハ變形デアツテ、9ナル部分ガ、U型ノ錠16ニ依ツテ、縱ノ方向ニ動カナイヨウニサレテ



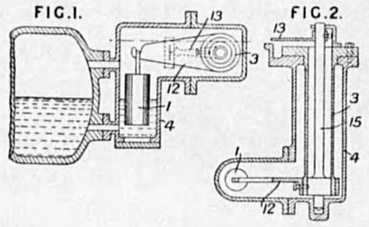
居ルソシテ廻轉ハ、固定部分8ニツイテイル齒冠18ノ切込ミノ1ツト係合シテ居ル1本ノ「ピン」17ニ依ツテ止メラレテ居ル。Fig. 8(圖示セズ)ノ樣ナ他ノ變形デハ、8, 9ノ部分ニアル鍔ガ共ニ、1本ノ割「ピン」ニ依ツテ動カヌヨウニサレテ居ル。又 Fig. 6 (圖示セズ)ノ樣ナ型デハ、1本ノ押「ネジ」デ、9ナル部分ガ、撓性「ケーシング」ニ取付ケラレテ居ル。又 Fig. 7 (圖示セズ)デハ、9ナル部分ガ縱ニ割レテ居テ、撓性「ケーシング」ニ緊合セテアル。Fig. 13 ノ樣ナ型デハ、9ナル部分ハ撓性ノ尖頭28ヲ持ツテ居テ、ソノ端ガ固定部分8ニハマツテ居テ、尖頭ノ上ヲスベル1ツノ環32ニ依ツテシツカリト止メラレルノデアル。

英 361,512 (XVIII)
(Oct. 6, 1930)

液面指示裝置
Indicating liquid levels.

發明者
Lumsdaine, J.,
Glasgow.

移動部分ノ昇降ガ、管ニ加ヘラレル捻力ノ量ヲ變化スル樣ニサレル。ソシテ液面ガ、起生サレタ歪ノ量ニ依ツテ指示サレル。コノ裝置ガ罐ニ應用サレタモノデハ、移動部分1ハ、管3ノ一端ニ取付ケラレタ腕12ニ支持サレテヰテ、コノ管3ハソノ他端ニ於テ鍔ニ依ツテ框4ニ取付ケラレテヰル。斯クシテ捻力ガ管3ニ加ヘラレ、ソノ歪ノ量ハ棒15ニ依ツテ指針13ニ傳ヘラレル。コノ裝置ノ變形デハ、管3ガ框4ノ外部ニ設ケラレテヰル。又其他ノ變形デハ、移動部分1ハ重錘ニ依ツテ釣合サレテヰテ、管3ノ端部ハ、運動廓大聯動機構ニ依ツテ指針ニ接續サレテヰル。管3ノ運動ハ、又供給「ポムプ」ヲ制御シ或ハ遠距離指示計ヲ作働シ或ハ又聽覺指示計或ハ記錄器ヲ作働サスニ用フル事モ出來ル。

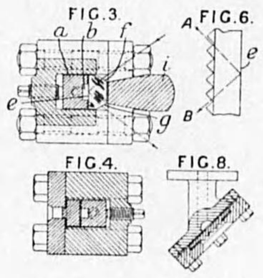


英 361,629 (XVIII)
(Nov. 28, 1930)

液面指示裝置
Indicating liquid levels.

發明者
Mahon, H. G. B
England.

コノ裝置デハ、反射「プリズム」型ノ測定用「ガラス」ニ於テ、ソノ「ガラス」ノ侵蝕ノ影響及ビ2重反射ノ影響ガ、「プリズム」ノ平坦ナ面ヲ液ニサラス事ニ依ツテ最小ニサレル。傾斜面ハ外部面トシテ用ヒラレテヰル。Fig.3ニ示スモノデハ、計器ハ金屬體 a ヲ持ツテヰテ、之ニ液ノ通路 b ガ設ケラレテヰル。「プリズム」ノ平坦面 e ハ、液ノ通路ヲ封ジテヰテ、傾斜面 f ヲ通過シタ光線ハ液面ノ上部ノ面 e ニ於テ反射サレ、面 g ヲ通シテ見ル事ガ出來ル。液面ヨリ下部ノ面 e ニ到達シタ光線ハ、液ノ中ニ屈折サレ、ソシテソノ爲「プリズム」ノソノ部分ハ暗ク見エル。「プリズム」ハ棒 i ニ依ツテソノ位置ニ緊定サレテヰル。Fig.4及ビ Fig.6 ニ示スモノハ變形デ、「プリズム」ニハソノ外面ニ横ニ波形ガツケラレ、光線ノ通路ハ Fig.6 ニ A, B デ示シタ樣ニナル。Fig.8ニ示スモノデハ、波形ハ縱方向ニツケラレテヰテ、光線ノ反射ハ計器ヲ横切ル樣ニナツテヰル。

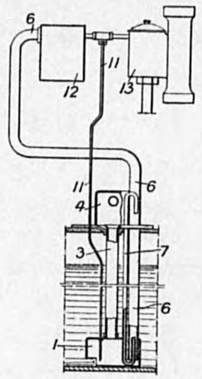


英 372,379 (XVIII)
(Nov. 7, 1930)

液面指示裝置
Indicating liquid levels.

發明者
Etablissements E. Jaeger
France.

コレハ空氣式液面指示裝置デアツテ、特ニ內燃機關ノ燃料「タンク」ニ使用スルモノデアル。圖ニ於テ、鐘狀體1ハ「タンク」ノ下部ニ設ケラレテヰテ、コノ鐘狀體ハ、「パイプ」3及ビ膨脹室4ニ依ツテ壓力計ニ連結サレテヰル。今1ツノ「パイプ」6ハ鐘狀體ノ中ニ突入シテヰテ、コノ「パイプ」ハ吐出機12ニツナガレソレヨリ氣化器13ニ行ツテヰル。7ハ空氣吸入管デ、コレヲ通シテ空氣ハ「パイプ」6ニ入リ、「ポムプ」ニ依ツテ液體ト混合シテ循環サセラレル。混合物ノ1部ハ枝管11ニ依ツテ鐘狀體1ニ返ヘサレ、ソコデ空氣ハ分離シテ鐘狀體ヲ一杯ノ狀態ニ維持スル。

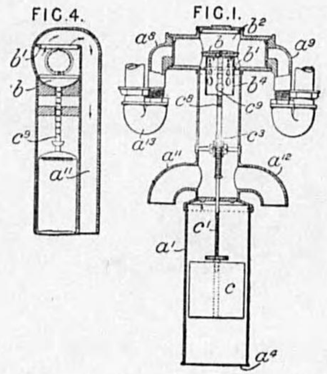


英 374,426 (XVIII)
(March 7, 1931)

液面調節裝置
Regulating liquid levels.

發明者
Casani, S.
England.

コレハ「タンク」、湯槽或ハコレ等ト同樣ノモノノ液ノ深サヲ調節スル裝置デアツテ、金網ノ覆a^4ヲ持ツタ管型部材a^1ニハ浮體cガ設ケラレ、コノ浮體ハ棒c^1ニ取付ケラレテヰテコノ棒ハソノ上端ニ「ラツク」c^3ヲ持ツテヰル。コノ「ラツク」ハ1對ノ「ピニオン」ノ間デ作働シ、コレ等ノ「ピニオン」ハU型部材c^8ノ2本ノ肢狀體ニアル「ラツク」ニ係合シ、前記U型部材ハ「バルブ」bヲ支持シテヰル垂直桿c^9ヲ有シテヰル。液面ノ上昇ニ依ツテ浮體ガ上方ニ移動スルト、「バルブ」ハソノ座b^1ニ向ツテ降下スル。溫水及ビ冷水ノ供給ハ夫々a^8,a^9ニ於テナサレ、ソレヨリ混合室b^2ニ入リ、ソノ割合ハ「サーモスタツト」ニ依ツテ調節サレル。ソシテ取付部a^{13}ハソノ垂直軸ノマワリニ廻轉シ色々ノ異ナル距離ニ離レテヰル湯槽口ニ適應スル樣ニサレテヰル。排出口a^{11}, a^{12}ハ「タンク」中ノ液面ノ上方ニ取付ケラレテヰル。「バルブ」bハ圓筒形ノ多クノ孔ノアイタ部分b^4ヲ持ツテヰテ、コレ等ノ孔ハ下ニユクニ從ヒ孔ノ大サガ大ニナツテヰル。浮體cハ垂直方向ニ「ネヂ」ヲ切ツタ棒c^1ノ上デ調節出來ル樣ニナツテヰル。室b^2ニハ又反轉栓及ビ逃シ瓣ヲ取付ケテ置イテモ良イ。Fig.4ニ示スモノハ變形デアツテ、「バルブ」bハ直接浮體ノ棒c^9ニ取付ケラレ座b^1ニ接スル樣ニナツテヰル。ソシテ排出通路a^{11}ハ側面ニ設ケラレテヰル。棒c^1ニハ漏洩ヲ防グ爲ニ溝ガ切ツテアル。



英 379,535 (XVIII)
(Sept. 29, 1931)

衡器並ニ其他裝置ニ用フル水平裝置
Levelling-devices for weighing and other apparatus

發明者
Benjamin, H. S.,
New York, U. S. A.

コレハ車輪臺1ノ上ニ乘セラレテヰル衡器或ハ其他ノ裝置ニ用フル水平裝置デ、ソノ補助支持部材(例ヘバ脚8)ハ床ニ接觸シテコノ床カラ車輪ノアルモノノ上ヲ持上ル樣ニナツテヰル。ソシテ上記支持部材ガ臺ヲシツカリト支エルノデアル。コノ補助部材ハ水平ニスル目的ノ爲ニ調節出來ル樣ニナツテ居リ又ソノ作用位置ニ臺ニ支持サレテヰル中空圓柱2ノ中ニ位置シテヰル作働桿15ヲ含ム手段ニ依ツテ動カサレル事ガ出來ル。脚8ハ前方ノ軸4ノ周リニ廻ル事ガ出來ル「スリーブ」7ニ依ツテ支持サレテヰテ、コレラ脚ハ各々ソノ先端ニ床ニ接スル頭部10ガアリ又「ネヂ」ガ切ツテアル。作働桿15ヲ圖ニ示ス點線ノ位置ニ動カスト、コレニ連結サレテオル連接桿12ガ「スリーブ」7ヲ廻シ、カクシテ脚ヲソノ作用位置ニ動カス。コレト同時ニ連接桿ノ後部端ノ溝孔部分ニアル突起22ガ後方軸ニ固定サレテヰル齒車23ニ係合シ之ヲ錠止スル。ソノ爲床ニ常ニ接シテヰル方ノ車ハ廻轉ヲ防止サレル樣ニナツテヰル。作働桿ハ横棒19ニアル突出部ニ依ツテソノイヅレノ位置ニモ維持サレル樣ニナツテヰル。

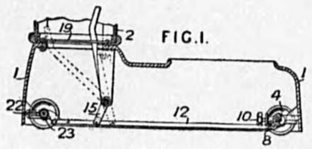


FIG.1.

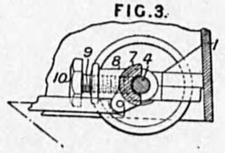


FIG.3.

雜

英 343,858 (XVIII)
(June 19, 1930)

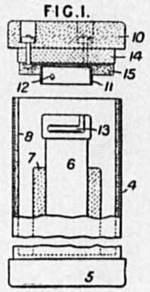
空氣速達裝置用ノ搬送器

Carriers for pneumatic dispa'ch apparatus.

發明者
Lamson Pneumatic Tube Co
London.

特ニ音響「レコード」ノヤウナ脆イ圓壔形ノ品物ヲ移送スルタメノ搬送器ハ、中央心軸若クハ支持體6及ビ引掛ケルノニ適應シ且ツ品物ノ位置ヲ保ツタメニ心軸ニシツカリト保持サルベキ取外ヅシノ出來ル緩衝蓋10トヲ包括シテヰル。搬送器4ハソノ一端ガ圓形ノ「フエルト」製緩衝物5デ閉ヂラレ、5ニハ帽子ニアル「ピン」12ガ掛カル「バヨネツト」溝13ガ設ケテアル圓壔形ノ中央心軸6ガシツカリト保持サレテヰル、帽子11ニハ「フエルト」製緩衝物10ガ連繫シテヰル、裡附ケ7,8及ビ「フエルト」製ノ間座14,15ガ設ケテアル、心軸ハ蓋ノ下側ヘシツカリト保持サレ、外ヅセルヤウニ圓筒ノ底ヘ締メツケラレル。若シ紙等ニ適合サセルタメニ孔ヲ必要トスル際ニハ、「バヨネツト」接ギ手ヲ他ノ互換性締付ケ具ト取リ換ヘル。

FIG.1.

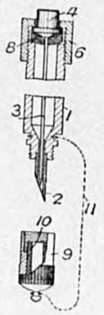


英 365,451 (XVIII)
(May 4, 1931)

液滴下裝置
Drop-delivery apparatus.

發明者
Bonicot Warenvertriebsges.
Vienna.

コレハ葉卷或ハ卷煙草等ニ「ニコチン」ヲ除ク液體ノ滴ヲ注入スル裝置ニ關スル考案デ、液體ヲ入ル容器1ハ、傾斜面ヲ持ツタ尖端ノ尖ツタ中空ノ液流出部分2ヲ持ツテヰテ、コレガ煙草ノ中ヘ挿入サレル樣ニナツテヰル、ソシテ針3ハ液流出部分ノ中デ動ク事ガ出來、且ツ護謨板8ニ係合スル押釦4ニ連結サレテヰル。コノ押釦ハ容器ノ尖端ニ「ネジ」ヲ切ツタ「キヤツプ」ニ依ツテ取付ケラレテヰル。押釦ヲ押下ゲルト針3ハ液流出部分2ノ傾斜部分カラ押出サレ、液體ヲ滴下サセルノデアル。容器ニ液體ヲ滿タスニハ押釦及ビ針ト共ニ「ネジ」ヲ切ツタ「キヤツプ」6ヲ取外セバ良イ。護謨栓10ノアル「ネジ」ヲ切ツタ「キヤツプ」9ハ、液流出部分ニ對スル蓋デアツテ、コレハ鎖11ニ依ツテ容器ニ連結サレテヰル。液流出部分2ノ長サハ、卷煙草ノ吸口ノ長サニ一致シテヰル、コノ裝置ハ不銹物質デ作ルノガ良イ。



昭和九年十二月 五 日印刷
昭和九年十二月十五日發行

東京市麴町區文部省內
發行者　波多野貞夫

東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷者　島　連太郎

東京市神田區美土代町二丁目一番地
印刷所　三秀舍

定價 壹圓八拾錢　**郵稅** 拾貳錢

東京市麴町區文部省內
發行所　日本學術振興會

終